＜沿岸資源管理サブプロジェクト＞

第１章　中間レビュー調査の概要

１－１　調査団派遣の経緯と目的

フィリピン国(以下「フィ」国)では、1991 年に制定された地方自治法の下、住民への基本的な公共サービスの提供義務が地方自治体（LGU）に移管された。しかし、それから 15 年以上経た現在でも、多くの LGU は財政面・人材面の困難から移譲された事業を効果的に実施できていない現状がある。このような状況下で、近隣地域共通の課題に対処し、資源や技術をプールし、各 LGU 単体では対応困難な業務を効果的に実施するための近隣自治体の連合体（LGU クラスター）が各地で形成されている。

本プロジェクトの実施機関であるメトロ・イロイロ-ギマラス経済開発評議会（MIGEDC）とバナテ湾資源管理評議会（BBRMCI）も、MIGEDC がイロイロ市と周辺５町及びギマラス州から構成する都市開発における課題解決のためのクラスター、BBRMCI がバナテ湾周辺の４町で構成する農漁村開発の課題解決のためのクラスターであり、それぞれにメンバーLGU の拠出金により関係機関と調整するための事務局を設置し、LGU 間共通の課題に対する調整や技術支援を行っている。

プロジェクト対象地であるイロイロ州は、フィリピン中部パナイ島に位置し、イロイロ州に２市 42 町を擁する。都市地域と沿岸部を含む農山漁村地域に大別され、セブに次ぐヴィサヤ地域の政治・経済の中心地として急成長中のイロイロ市を有する一方、周辺のヴィサヤ海は有数の漁業地域である。しかし、都市化が進むにつれ、幹線道路網や地方道路が総合的な計画無しに整備される一方で、地域的な交通管理計画の遅れが目立つようになってきており、都市及び周辺地域の総合的な発展に支障をきたしている。一方、農山漁村地域では、マングローブ林やさんご礁の破壊を伴う沿岸環境破壊や違法漁業が多発し、環境問題が深刻化すると共に、農漁村資源の減少に伴う住民の収入減少が顕在化してきている。

本プロジェクトは、LGU クラスター活動を通した地域活性化の試みとして、また、それぞれの地域の LGU 協働による開発や環境事業計画などの立案、実施、及び運営指導のノウハウを確立するため、メトロ・イロイロ地域とバナテ湾沿岸地域の 2 つの LGU クラスターを実施機関として、各クラスター事務局機能の向上と各メンバーLGU 関係職員の技術能力向上を図るために実施するものである。

また、本プロジェクトでは、1 つのプロジェクトの下、MIGEDC における「都市交通管理改善」・BBRMCI における「沿岸資源管理」のそれぞれの課題解決のための LGU クラスター開発のサブプロジェクトを実施している。

本調査団は、プロジェクト協力期間の中間地点を迎えて、これまでの活動と成果の実績を確認し、評価 5 項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、自立発展性）に基づき評価を行い、今後の活動の方向性について関係者の合意形成を図るため、以下の方針を以って中間レビューを実施した。

4) 活動計画に基づき、プロジェクトの投入実績、活動実績、計画達成度を調査・確認し、問題点を整理する。
5) 評価 5 項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、自立発展性）の観点から、プロジェクトの中間レビューを行い、プロジェクト・チームおよび関係機関に対して提言を行い、今後の活動計画の方向性について協議する。
6) 本調査の協議結果を双方の合意事項としてミニッツおよび中間レビュー報告書に取りまとめる。

１－２　調査団の構成

担当分野	名前
総括	岩上　憲三（JICA フィリピン事務所　次長）
沿岸資源管理	山尾　政博（広島大学大学院生物圏科学研究科　教授）
地方行政/協力企画	笠井久美子（JICA フィリピン事務所　企画調査員）
評価分析	佐久間美穂（財団法人国際開発センター）

１－３　調査日程

別添資料参照。

１－４　主要面談者

・JICA プロジェクト・チーム

総括/地方行政	宇田川　和夫
IT・広報/業務調整	井　上　　真

・BBRMCI 事務局（カウンターパート）

事務局長	Mary Lou Larroza
スタッフ	Deogracias Calmorin
	Rudy Villaroel
	Ma. Auxilladora Perocho
	Ma. Yolanda Aberde
	Roselle Bactung
	Jose Tamudtamud
	Rodorigo Bayona
	Nieva Evangelista

・バナテ町

町長	Carlos Cabangal
町開発計画調整課長	Elsia Boglosa

・バロタック・ビエホ町

町長	Raul Tupas
町開発計画調整課長	Lydia Barrido
町議会議員	6 名

・アニラオ町

町長	Teresa Debuque
町議会議員	6 名

・バロタック・ヌエボ町

町農業課職員(元 BBRMCI スタッフ)	Jane Ruth Martinez

・イロイロ州政府

州知事	Niel Tupas
州開発計画調整局長	Mario N. Nillos

・沿岸バランガイ住民

バロタック・ビエホ町の 3 バランガイ（男女計 73 名）、バロタック・ヌエボ町の 2 バランガイ（男女計 39 名）、バナテ町の 3 バランガイ（男女 55 名）、アニラオ町の 2 バランガイ（男女計 41 名）で、バランガイごとにフォーカス・グループ・ディスカッションを行った。

１－５　調査の手順と調査項目

本評価調査では、日本側調査団がプロジェクト・サイクル・マネジメント手法に基づき、妥当性、効率性を現状と実績に基づいて検証した。また、有効性、インパクト、自立発展性についても活動状況や実績に基づき、可能な範囲で検討した。

１－５－１　調査の手順

(4) 資料レビュー、評価グリッドの作成

国内準備期間中に、事前評価調査報告書、インセプション・レポート、プロジェクト進捗レポート、プロジェクトが作成した参考資料等をレビューして現地での調査項目及び情報収集方法を検討し、評価デザインとして評価グリッド（英文）を作成した。

(5) 質問票の作成・回収

現地調査に先立ち、評価分析団員が評価グリッドを基に、C/P や専門家チームなど関係者に対する質問票を作成し、現地調査時（或いは、事前に書面で）回答を回収し、分析を行った。また、対処方針案で挙げられた調査ポイントに沿って、対面用の質問案を作成した。

(6) プロジェクト関係者との面談、聞き取り調査、現地視察

上記質問票調査を補う形で、現地にて C/P や専門家チーム、BBRMCI メンバーLGU の首長や地方議会議員、開発計画調整課及び農業課職員、イロイロ州政府職員など関係者に対する聞き取り調査を行った。また、BBRMCI メンバーLGU の沿岸コミュニティを訪問してフォーカスグループ・ディスカッションを実施し、人工漁礁の設置サイト等を視察した。

(4)　プロジェクト関係者への調査結果報告

評価調査結果を調査団内で詳細に検討し、評価調査報告書(英文)として取り纏めた。2009 年 2 月 25 日、中間レビュー結果共有会を開催し、C/P 及び JICA 専門家ら関係者にレビュー結果を報告した。また、2 月 26 日、調査団とイロイロ州政府との間でミニッツの署名・交換を行った。

１－５－２　調査項目

(1) 実績の確認

投入実績、成果の達成度、プロジェクト目標の達成見込みを確認した。

(2) 実施プロセスの確認

プロジェクト活動の進捗、モニタリング状況、プロジェクト関係者間の協力関係、外部条件の影響等を確認した。

(3) 5項目評価

項目	視点
妥当性 （relevance）	プロジェクトの計画内容は受益者のニーズと合致しており必要性が高いか、相手国の開発政策および日本の援助政策と整合性があり高い優先度が認められるか、また、対象分野・セクターの問題や課題の解決策として適切かなどを問う。
有効性 （effectiveness）	プロジェクトで計画した効果（プロジェクト目標）は達成されているか、また、それはプロジェクトの活動の結果もたらされたものかなどを問う。
効率性 （Efficiency）	アウトプットもしくはプロジェクト目標について、より低いコストで達成する代替手段はなかったか、あるいは同じコストでより高い達成度を実現することはできなかったか、また、投入はタイミングよく実施されたかなどを問う。
インパクト （Impact）	プロジェクトで計画した長期的・間接的な効果（上位目標）は達成されているか、予期していなかった社会経済的な正・負のインパクト（波及効果）はあるかなどを問う。
自立発展性 （Sustainability）	プロジェクトが目指していた効果（プロジェクト目標、上位目標）は協力終了後も持続するかについて、技術・組織・財務などの視点から問う。

(4) 促進・阻害要因の抽出

収集したデータを分析し、プロジェクト実績の貢献・阻害要因を抽出した。

(5) 提言

評価結果を踏まえ、プロジェクトの改善に向けた提言を行った。

第２章　プロジェクトの概要

２－１　プロジェクトの基本情報

案件名：　イロイロ州地域活性化・LGU クラスター開発プロジェクト、沿岸資源管理サブプロジェクト
援助形態：　技術協力プロジェクト（業務実施契約型）
所轄部署：　フィリピン事務所
先方関係機関：バナテ湾資源管理評議会（BBRMCI：Banate Bay Resource Management Council, Inc. ）
協力期間：　3 年間（2007.10～2010.10）

２－２　本プロジェクトのデザイン

上位目標

イロイロ州において、持続的な沿岸資源管理のための LGU クラスターが機能する。

プロジェクト目標

イロイロ州バナテ湾・バロタック湾地域における LGU の連携による沿岸資源管理システムが強化される。

成果

1) 包括的沿岸資源管理システムの基盤が強化される。
2) 研修と普及活動により BBRMCI と関係機関の能力が強化される。
3) 沿岸資源管理活動が強化される。
4) 沿岸資源の持続的利用と資源保全活動が奨励される。

活動

成果 1:

1-1.1 沿岸環境調査を実施する。
1-1.2 沿岸資源利用状況調査を実施する。
1-1.3 BFARMC と共同で環境モニタリングを実施する。
1-1.4 BFARMC と共同で水揚げ量データを収集する。
1-2 BBRMCI データベースを作成する。
1-3 BBRMCI マスタープランを見直す。
1-4.1 バナテ湾及びバロタック湾の包括的沿岸資源管理計画を策定する。
1-4.2 BBRMCI の活動に沿った沿岸資源管理オペレーション・マニュアルを策定する。

成果 2:

2-1 BBRMCI と LGU を対象にしたプロジェクト計画策定・管理に関する TOT （トレーナー養成研修）を計画し、実施する。
2-2 LGU とバランガイを対象にしたプロジェクト計画と資源管理に関する研修を計画し、実施する。

成果 3:

3-1.1 現行の違法漁業取締まり活動を見直す。

3-1.2 定期的なパトロール及び取締り活動を実施する。

3-2.1 現行の沿岸資源管理活動を見直す。

3-2.2 BFARMAC と共同で沿岸資源管活動を実施する。

3-3.1 沿岸資源増殖・管理活動サイトの選定基準を設定し、サイトを選定する。

3-3.2 上記沿岸資源管理活動を実施する。

3-3.3 上記活動のモニタリング・評価を実施する。

3-4　破壊的な漁業を減少させるため、適切な漁具及び養殖技術の見直しを行う。

成果 4:

4-1.1 PR 活動担当の職員が配置される。

4-1.2 BBRMCI のウェブサイトが作成され公開される。

4-2 ニュースレターが発行・配布される。

4-3 沿岸資源管理情報に関するポスターが作成・配布される。

4-4.1 州内の参加者を対象にした沿岸資源管理ワークショップを企画する。

4-4.2 上記ワークショップを通じて BBRMCI の活動の教訓と成功事例を他の沿岸 LGU と共有する。

２－３　PDMについて

本プロジェクトでは、プロジェクト開始後に事前評価調査時に作成された PDM（Ver.0）の見直しを行い、PDM 修正案は 2008 年 3 月の JCC で承認された。主な修正点は、指標の変更と活動内容の詳細化（詳細については、第 1 年次業務完了報告書（2008 年 3 月）参照)。以後、中間レビュー実施まで、本プロジェクトは PDM（Ver.1）に基づいて実施されてきた。

以上の経緯から、本調査では、PDM（Ver.1）を PDMe として利用し、プロジェクト・チームが指標のさらなる改善を希望していることを念頭においてレビューを行った。

第３章　プロジェクトの実績・実施プロセス

３－１　プロジェクトの実績

３－１－１　投入実績

(1) 日本側投入

1) 専門家

計 5 名の日本人専門家が派遣され、BBRMCI スタッフおよび LGU 職員の能力開発にかかる技術支援を行った。

	名前	担当業務	派遣期間
1	宇田川　和夫	総括/地方行政	2007 年 10 月 07 日～2007 年 11 月 07 日 2008 年 02 月 28 日～2008 年 03 月 08 日 2008 年 08 月 14 日～2008 年 09 月 12 日 2008 年 10 月 08 日～2008 年 11 月 12 日 2009 年 02 月 15 日～2009 年 02 月 28 日
2	多田　盛弘	コミュニティ沿岸資源管理（参加型資源管理）	2007 年 10 月 19 日～2007 年 11 月 17 日 2008 年 02 月 03 日～2008 年 03 月 03 日 2008 年 05 月 18 日～2008 年 06 月 11 日 2008 年 07 月 17 日～2008 年 08 月 15 日 2009 年 01 月 09 日～2009 年 02 月 07 日
3	井上　　真	IT・広報/業務調整	2007 年 11 月 10 日～2007 年 12 月 09 日 2008 年 02 月 15 日～2008 年 03 月 15 日 2008 年 05 月 11 日～2008 年 06 月 09 日 2008 年 11 月 09 日～2008 年 12 月 08 日 2009 年 02 月 04 日～2009 年 03 月 05 日
4	寺島　裕晃	コミュニティ沿岸資源管理（人工漁礁）	2008 年 07 月 13 日～2008 年 08 月 01 日
5	岡本　一宏	コミュニティファシリテーション	2008 年 09 月 02 日～2008 年 09 月 11 日

2) 活動費

経常費は、プロジェクト活動費として使われた。研修センターの建設及び調査用ボートの建造は、初年度に地元の建設・造船業者に再委託された。

（単位：日本円）

	項目	2007 年度	2008 年度	計
1	経常費	7,469,000	8,095,000	15,564,000
2	研修センターの建設	4,327,000		4,327,000
3	調査用ボートの建造		1,177,000	1,177,000
4	研修		354,000	354,000
	合計	11,796,000	9,626,000	21,422,000

3) ローカル・スタッフ及びローカル・コンサルタント

本プロジェクトでは、日本人専門家の現地滞在期間が比較的短い。このため、日本人専門家の不在を補う目的でリサーチ・アシスタント1名が雇用され、活動進捗とコミュニケーションの円滑化を図った。また、各種調査の実施及び研修やセミナー開催時の講師としてローカル・コンサルタントが雇用された。ローカル・コンサルタントの雇用詳細は、下表のとおり。

2007年度

業務内容	所属機関	名前
海洋調査		Dr. Rex BALENA
マングローブ調査	環境天然資源省（DENR）	Fuentes DAMASO
海草調査	イロイロ水産大学（ISCOF）	Melanie D.GARCIA
沿岸資源利用状況調査	フィリピン大学ヴィサヤ校（UPV）	Dr. Melina ANDALECIA and her survey team

2008年度

業務内容	所属機関	名前
参加型沿岸資源調査	ISCOF	Elvira DELGADO Glen CATOTO
食品加工ワークショップ講師	ISCOF	Rosalinda PARRENO
カキ養殖ワークショップ講師	ISCOF	Gildo BAYOGOS
環境モニタリング評価講師	コミュニティ環境天然資源事務所（CENRO）	Prejeline SOLDEVILLA
マングローブ・モニタリグ・ワークショップ講師	DENR	Vilma LIMATES
法執行ワークショップ講師	BFAR	Edwin JAVIER

4）機材供与

BBRMCI に供与した機材及び設備のリストは、別添参照。

5）日本研修

イロイロ州政府農業局より BBRMCI に出向中のカウンターパート 1 名が日本研修に参加した。

分野	漁村コミュニティ開発計画
期間	2008 年 7 月 13 日-2008 年 10 月 1 日
受講者	Deogracias Calmorin
所属機関	Aquaculturist II, Provincial Agricultural Office

(2) フィリピン側

1） C/P の配置

2009 年 2 月現在、9 名（BBRMCI 事務局長 1 名。アニラオ町職員 2 名、バロタック・ビエホ町職員 1 名、イロイロ州政府職員 4 名、国家警察海上保安グループ職員 1 名）が本プロジェクトのカウンターパートとして配置されている。バナテ町からは職員 1 名が出向していたが、同職員がイロイロ州政府農業局に移籍（現在は州から BBRMCI に出向中）したため、中間レビュー時点では空席になっていた。また、バロタック・ヌエボ町は、2008 年末に BBRMCI に出向させていた職員 1 名を町農業課に引き上げたまま補充していない。

名前	担当業務	役職	雇用形態	期間
Mary Lou Larroza	沿岸資源管理	事務局長	契約（任期付き、更新可）	2007 年 09 月 01 日～現在
Ma.Auxilladora Perocho	組織・制度開発	組織･制度開発ユニット・リーダー	常雇い	2007 年 09 月 01 日～現在
Ma.Yolanda Aberde	マングローブ/土地利用	マングローブ/土地利用ユニット･リーダー	常雇い	2007 年 09 月 01 日～現在
Roselle Bactung	調査/データ集積	調査/データ集積ユニット・メンバー	臨時雇い	2007 年 09 月 01 日～現在
Jose Tamudtamud	法執行	法執行ユニット･リーダー	臨時雇い	2008 年 03 月 01 日～現在
Nieva Evangelista	コミュニティ･ファシリテーション	管理スタッフ	臨時雇い	2008 年 11 月 01 日～現在
Deogracias Calmorin	養殖/人工漁礁	水産養殖専門家	常雇い	2008 年 10 月 15 日～現在
Rudy Villaruel	生計向上	水産養殖専門家	常雇い	2007 年 09 月 01 日～現在
Rodorigo Bayona	法執行	国家警察海上保安グループ	臨時雇い	2007 年 09 月 01 日～現在

2) プロジェクト運営費

BBRMCI の各年度予算の主な出所は、BBRMCI の構成 LGU からの分担金拠出及びイロイロ州政府からの予算補助である。

（単位：フィリピンペソ）

項目	2007 年度	2008 年度	合計
BBRMCI 予算	815,000	881,000	1,696,000

３－１－２　活動実績

中間レビュー時点での活動進捗状況は次の通り。

成果 1 のための活動:

1-1.1 沿岸環境調査を実施する。

第 1 年次に海洋調査及び潜水資源調査が実施された調査結果は沿岸環境･沿岸資源利用状況調査報告書にまとめられた。同報告書は 2008 年 8 月に出版された。

1-1.2 沿岸資源利用状況調査を実施する。

参加型沿岸資源評価ワークショップ（PCRA)が対象 4 町の全ての沿岸バランガイ（31）で実施された。これらの結果は、沿岸バランガイ PCRA 報告書およびバランガイ・プロファイル報告書としてまとめられ、2008 年 8 月に出版された。沿岸資源利用状況調査の結果は、沿岸環境・沿岸資源利用状況調査報告書にまとめられた。

1-1.3 BFARMC(漁民組織)と共同で環境モニタリングを実施する。

モニタリング体制が、調査結果を踏まえて沿岸環境調査報告書にまとめられた。海洋調査

には、BFARMC のボランティアも数名参加した。

1-1.4 BFARMC(漁民組織)と共同で水揚げ量データを収集する。

各町、それぞれ１バランガイにおいて、BFARMC の協力を得て漁獲水揚げ量データを収集している。これらのデータは、BBRMCI のデータベース（エクセル・フォーマット）に毎月記録されている。

1-2 BBRMCI データベースを作成する。

データベースのプロトタイプはマイクロソフト・アクセスのフォーマットで、日本人専門家がデザインした。集められたバランガイ・プロファイル、漁民登録、漁船登録等のデータは、BBRMCI 職員により入力されている。

1-3 BBRMCI マスタープランを見直す。

まず、マスタープラン見直しのためのワークショップを BBRMCI と日本人専門家との間で行い、現状の問題点と今後の課題を共有した。また、BBRMCI 職員、LGU 職員、TWG メンバーを対象とした組織分析ワークショップを 2008 年 9 月に開催し、それぞれの役割を見直し、今後のマスタープラン作成のための組織分析結果を共有した。これらの活動を出発点とし、プロジェクト期間後半も活動を継続していく予定。

1-4.1 バナテ湾及びバロタック湾の包括的沿岸資源管理計画を策定する。

活動 1-3 で開かれた組織分析ワークショップにおいて共同沿岸資源管理計画の必要性が議論された。

1-4.2 BBRMCI の活動に沿った沿岸資源管理オペレーション・マニュアルを策定する。

BBRMCI の各活動ユニットのオペレーション・マニュアルは、ローカル・コンサルタントにより 2009 年中に準備され、印刷される予定である。マニュアルの内容は、プロジェクト後半実施予定の沿岸資源管理研修を通じて固めていく。中間レビューの時点では、BBRMCI 職員とローカル・コンサルタントの協働により、マングローブ評価活動マニュアルのドラフトのみが完成していた。

成果 2 のための活動:

2-1 BBRMCI と LGU を対象にしたプロジェクト計画策定・管理に関する TOT （トレーナー養成研修）を計画し、実施する。

2008 年 9 月に、組織分析ワークショップおよび PCM ワークショップが 4 日間にわたり実施された。また、BBRMCI と LGU 職員を対象とする、法制度（違法漁業取締り等)、マングローブ管理など、一連の沿岸資源管理研修が 2008 年 12 月から 2009 年 2 月の間に実施された。

2-2 LGU とバランガイを対象にしたプロジェクト計画と資源管理に関する研修を計画し、実施する。

BBRMCI 職員およびローカル・コンサルタントが、対象 4 町において、バランガイのニーズに基づいた沿岸資源管理のための PCM ワークショップを実施した。

成果 3 のための活動:

3-1.1 現行の違法漁業取締まり活動を見直す。

BBRMCI やローカル・タスクフォース、コミュニティを対象として、法制度と違法漁業の問題分析ワークショップが実施された。また、監視活動アシスタントの養成を目的として、BFARMC のスタッフを対象とする違法漁業取締りワークショップを実施した。

3-1.2 定期的なパトロール及び取締り活動を実施する。

調査用ボートが調達され、沿岸資源のモニタリングだけでなく、違法漁業の監視活動にも定期的に活用されている。

3-2.1 現行の沿岸資源管理活動を見直す。

沿岸環境調査の結果、現行の海洋資源保護地域（MPA）システム改定の必要性、特に管理体制の再構築が必要と提言された。また、これに関連して MPA の問題分析ワークショップが実施された。

3-2.2 BFARMC と共同で沿岸資源管活動を実施する。

調査用ボートを使った違法漁業の監視活動が週 3 回実施されている。中間レビュー時点では、BFARMC の協力により一般漁民の一部が監視活動への参加を考慮し始めていた。

3-3.1 沿岸資源増殖・管理活動サイトの選定基準を設定し、サイトを選定する。

JICA 専門家チームと BBRMCI は、次の通り、パイロット・プロジェクトのサイト選定基準を決定した。

前提条件：

1. 要請がコミュニティ側から出されていること。LGU が当該パイロット・プロジェクトの実施に同意していること。
2. パイロット・プロジェクトに適用される技術が、既にフィールドで試されており、対象地域で簡便に入手できること。
3. 効果が 1 年で検証できるもの。
4. しっかりした住民組織が存在し、責任を持ってパイロット・プロジェクトを遂行する意思を持っていること。
5. 予算は、4 町に均等に配分される。

選定基準：

1. 長期的な沿岸資源の増殖に資する、町単位の活動であること。各町から 1 つの沿岸資源管理パイロット・プロジェクトを選ぶ。
2. バランガイ・レベルの沿岸資源管理活動に参加している漁民世帯の生計支援に資する漁業に関連した生計向上活動であること。町ごとに 2 つの生計向上パイロット・プロジェクトを選ぶ。
3. 他のコミュニティでも実施可能性が高いと考えられる活動内容であること。

JICA プロジェクト・チームは、上記の基準に基づき、中間レビュー時点でバナテ町及びバロタック・ビエホ町における人工漁礁(AR)プロジェクトのサイトを選定済み。引き続き、残りのサイトも選定していく予定である。

3-3.2 上記沿岸資源管理活動を実施する。

バナテ町及びバロタック・ビエホ町にて、AR プロジェクトが開始された。中間レビュー時点では、AR は一部設置されていたが、設置作業は継続中であった。

3-3.3 上記活動のモニタリング・評価を実施する。

人工漁礁の運営管理及びモニタリングのためのワークショップが 2009 年 2 月に実施され、中間レビュー時点では、AR 運営管理計画を策定中であった。

3-4 破壊的な漁業を減少させるため、適切な漁具及び養殖技術の見直しを行う。

活動 3-3.3 で開催された人工漁礁の運営管理及びモニタリングのためのワークショップにおいて、手釣り漁法が AR 周辺での漁に適していることを説明した。また、同ワークショップの参加者に、資源管理に適切かつ合法な漁具のリストを配布した。

成果 4 のための活動:

4-1.1 PR 活動担当の職員が配置される。

PR 活動担当職員の配置が必要なことは BBRMCI 職員も理解しているが、人員不足のため、中間レビュー時点では未配置であった。

4-1.2 BBRMCI のウェブサイトが作成され公開される。

BBRMCI のウェブサイトは、日本人専門家により、各 LGU 及びイロイロ州政府のサイトにリンクできる 状態まで準備済み。JICA 内部での調整が完了次第、公開される予定である。

4-2 ニュースレターが発行・配布される。

ニュースレター(第 1-3 号)が発行され、関係諸機関に配布された。

4-3 沿岸資源管理情報に関するポスターが作成・配布される。

3 種類のパンフレット（すべて英文）とポスター（イロンゴ語版 1 タイプ、英語版 2 タイプ、各 1000 部ずつ）が作成された。パンフレットの 1 つはイロンゴ語に翻訳され、印刷中であった。

4-4.1 州内の参加者を対象にした沿岸資源管理ワークショップを企画する。

州レベルでのワークショップは、プロジェクトの終了前に開催の予定である。プロジェクト・チームは、州外からも沿岸資源管理関係者を招待することを考えている。

上記ワークショップ以外に、2009 年 2 月 26 日、ステークホールダー集会兼第 13 回 BBRMCI 設立記念大会が開催された。プログラムには、BBRMCI の設立経緯や活動紹介、沿岸資源管理セミナー（パナイ島内の沿岸資源管理の成功事例紹介、沿岸資源管理専門家による講義など）も含まれており、対象 4 町在住の地元漁民のほか、州知事をはじめとする地方政治

家や報道関係者等、約 300 名が参加した。

4-4.2 上記ワークショップを通じて BBRMCI の活動の教訓と成功事例を他の沿岸 LGU と共有する。

上記ワークショップ準備にかかる活動は、プロジェクトの後半で実施予定。

３－１－３ 成果の達成状況

中間レビュー時点での成果の達成状況は次の通り。

成果 1	包括的沿岸資源管理システムの基盤が強化される。
指標	1-1 包括的資源管理計画策定のために必要なデータと情報が収集される。 1-2 上記データが BBRMCI のデータベースに取りまとめられ、州政府及び LGU と共有される。 1-3 BBRMCI のマスタープランが見直され、改訂される。 1-4 バナテ・バロタック湾域の包括的沿岸資源管理計画と資源管理活動マニュアルが策定される。

成果 1 は、中間レビュー時点で部分的に達成されている。指標 1-1 は概ね達成されているが、指標 1-2、1-3、1-4 についてはプロジェクト後半でのさらなる努力が期待される。

第 1 年次には、まず、海洋調査、マングローブ林調査、海草調査、サンゴ礁調査などを含む沿岸環境調査が実施された。また、8 つの沿岸バランガイにおいて沿岸資源利用状況調査が行われ、沿岸資源の現状と利用状況及び沿岸コミュニティの社会経済的特徴に関する情報が収集された。これら 2 つの調査の結果は沿岸環境･資源利用調査報告書に一括され、2008 年 8 月に出版された。同報告書には BBRMCI のマスタープラン見直しや包括的沿岸資源管理計画の改訂に必要な各種データが取り纏められている。これら調査により沿岸環境の現状把握に有用な指標が明らかになり、沿岸コミュニティの社会経済的特徴が明確になった点は高く評価できる。

また、対象 4 町の全ての沿岸バランガイ（31）にて参加型沿岸資源調査（PCRA）が実施され、沿岸部住民および漁民の沿岸資源管理に対する意識が高められたのも、大きな成果であった。この調査の結果は、沿岸バランガイ PCRA 報告書とバランガイ・プロファイル報告書にまとめられた。

しかし、これら調査結果のデータ入力と分析、及びコミュニティへのフィードバックは、中間レビューの時点ではまだ十分実施されていなかった。この点がプロジェクト後半での課題となろう。また、BBRMCI マスタープランの見直しと包括的沿岸資源管理計画の改訂についても、調査の結果に基づき、プロジェクトの後半で検討される予定である。

指標 1-4 に関連し、調査団は、できるだけ早くオペレーション・マニュアルの準備を始めるようプロジェクト・チームに提言する。BBRMCI は既に 10 数年の沿岸資源管理活動経験を有し、様々な分野の蓄積をもっている。今後、広域の資源管理行政をイロイロ州内外で

一般化させていくためには、それらの業務マニュアル化が不可欠と考えられる。BBRMCI が 10 数年にわたって蓄積してきた力を最大限に引き出して，成功体験として普及していくことが、本プロジェクト後半の活動として求められている。

成果 2	研修と普及活動により BBRMCI と関係機関の能力が強化される。
指標	2-1 BBRMCI と LGU スタッフが BFARMC とコミュニティー・リーダーのためにコミュニティ開発ワークショップを実施できるようになる。 2-2 BBRMCI スタッフがバランガイ住民のニーズに基づいた研修・訓練をアレンジできるようになり、少なくとも各 LGU で 1 回は研修・訓練を実施する。

成果 2 は、中間レビューの時点でほぼ達成されているが、BBRMCI スタッフ及び LGU 職員の能力は、プロジェクト後半に実施予定の研修やセミナーを通じてさらに強化されていく見込みである。

指標 2-1 に関しては、バランガイの職員や BFARMC 委員長らを対象に、4 町それぞれで CRM・PCM ワークショップが BBRMCI のスタッフを中心に企画され、実施された。BBRMCI のスタッフは、中間レビュー時点で、既に自分たちだけで PCM ワークショップを準備し、実施できるようになっている。

指標 2-2 については、BBEMCI がコミュニティのニーズに基づいて、魚の加工法の紹介を企画し、バロタック・ヌエボ町でこれを実施した。同様に、小エビのペースト造りについても、ワークショップをアニラオ町で開催する準備が進められている。コミュニティのニーズに応じて研修やワークショップを企画し、講師や予算を調達するサービスは、BBRMCI の本来業務の一つであり、本プロジェクト実施前からある程度の実施能力があったが、本プロジェクトの活動を通じて、BBRMCI スタッフの研修企画・実施能力はさらに強化されたと言える。

BBRMCI スタッフは構成 LGU 或いはイロイロ州政府の職員であり、BBRMCI に出向している状況にある。従って、自立発展性の観点からも、町長や町議会議員、町や州の開発計画調整課、農業課、協同組合課などの職員を適宜研修やセミナーに招待するなど、プロジェクトへの巻き込み強化を図っていくことが得策と考えられる。

成果 3	沿岸資源管理活動が強化される。
指標	3-1 BBRMCI の調整による警備・取り締まり活動が機能し、パトロール／取締りが毎週行われる。 3-2 BFARMC による恒常的な海洋保護区（MPA)管理活動が 2 つ以上の MPA で行われる。 3-3 少なくとも 4 つの BFARMC で住民と連携した資源管理活動が実施される。

成果 3 はプロジェクト前半の諸活動を通じて部分的に達成されている。

指標 3-1 については、BBRMCI に供与された調査用ボートを活用して、週 3 回のペースで違法漁業取締りのパトロール活動が続けられている（ボートの燃料費はプロジェクトが負担している)。調査団が複数の沿岸コミュニティにてインタビュー調査を行った結果、過去 1 年半の定期的なパトロールにより、違法漁業が減少し沿岸資源が増殖していると、沿岸住民が感じていることが明らかになった。バロタック湾及びバナテ湾における違法漁業の取締りは、住民がその効果を実感できる程度まで強化されたと評価できる。

指標 3-2、3-3 については、関連した活動がプロジェクト前半ではまだ始まっていなかったが、第 1 年次に実施された各種調査を通じて、バランガイのリーダーたちは沿岸資源管理の問題に対する意識を高めていることがインタビュー等から窺えた。CRM や PCM ワークショップは 4 町それぞれで開催され、バランガイ役員や BFARMC 委員長らが各コミュニティの MPA 保護計画を立案した。これらの計画の一部は、次年度の活動で実施されることになっている。

BBRMCI の沿岸資源管理に関する通常業務は、本プロジェクトによってかなりの程度整理され強化されたが、モニタリング活動については依然として不十分なままであることが今回の調査を通じて明らかになった。プロジェクト後半では、モニタリング関連の活動をより強化していくことが期待される。

成果 4	沿岸資源の持続的利用と資源保全活動が奨励される。
指標	4-1 2008 年 12 月までに BBRMCI の活動を普及するためのウェブサイトが立ち上がる。 4-2 毎年 3 回以上ニュースレターが発行される。 4-3 2009 年 12 月までに、少なくとも 2 つのポスターとパンフレットが作成される。 4-4 BBRMCI 活動の経験と成果を他の沿岸 LGU と共有するためのイロイロ州全域を対象としたワークショップを開催し、200 人以上が参加する。

成果 4 については、中間レビュー時点で期待される程度の成果は達成されているが、定量的な成果指標ばかりなので、指標の追加或いは修正も今後の課題となろう。

指標 4-1 に関しては、進捗状況でもふれた通り、BBRMCI のウェブサイトは予定通り準備済みであるが、JICA 内部でのウェブサイトに関する調整が必要なため、中間レビュー時点ではまだ一般からアクセス可能な状態にはなっていなかった。指標 4-2 については、2008 年度はニュースレター（第 1-3 号）が発行されており、3 回以上の発行という目安をクリアしている。また、指標 4-3 については、中間レビュー時点までに 3 種のポスターとパンフレットが作成されており、量的には達成されている。指標 4-4 のイロイロ州全域を対象としたワークショップは、プロジェクトの終了前頃に開催する予定であり、プロジェクト後半で準備が進められる予定である。

上述の通り、ポスターやパンフレットなど広報・啓蒙のための媒体は、数量的には成果が

あがっている。しかし、数値目標だけで広報・啓蒙の成果が図れるかどうかは疑問であり、今後、より適切な成果指標への改善が期待される。また、プロジェクト対象地域の住民、特に漁民やその家族の、日常生活における使用言語はイロンゴ語なので、広報・啓蒙のための資料はできるだけイロンゴ語版を作成するよう提言する。さらに、第1年次の調査結果は、将来のコミュニティ開発計画に活用されるよう、速やかに住民にフィードバックされることが期待される。

３－１－４ プロジェクト目標の達成見込み

プロジェクト目標	イロイロ州バナテ湾・バロタック湾地域におけるLGUの連携による沿岸資源管理システムが強化される。
指標	1. BBRMCIの活動予算(金額）と人材配置（人数）がLGUにより適切に確保される。 2.資源管理活動の効果が日常的に、広く広報される。

LGUクラスターを通じた沿岸資源管理システムは、本プロジェクトの活動を通じてかなりの程度強化されたと言える。しかし、最終的にどこまでプロジェクト目標が達成できるかを現時点で正確に予測することは難しい。BBRMCIは、複数のLGUの意思に基づいて設置されたLGUクラスターであり、各LGUが集合的な沿岸資源管理行政を継続しようという政策を取り続ける場合のみ、存在する。2010年5月には地方選挙が実施される見込みであることから、政治的な要素が本プロジェクトに与える影響に注意しながら、プロジェクト後半の活動を進めていく必要がある。

指標1に関しては、構成LGUの一つであるバロタック・ヌエボ町が2008年の分担金支払いを停止し、出向職員を町農業課に引き揚げさせているが、これは地方首長間の政治的対立が要因と考えられている。BBRMCIの維持発展を確保するためには、LGUクラスターが政治的意思によってではなく、条例に定められた義務の執行によって機能していくことが求められるが、現実にはなかなか難しい。現在、予算や人員の不足分は、州政府からの支援により補填されているが、これも政治的な背景に大きく負っており、やはり第一義的にはBBRMCIを構成する各LGUが条例に定められたそれぞれの義務を果たしていくことが安定した行政サービスの提供にとって最も重要と考えられる。フィリピンの政治環境を鑑みれば、指標1は、プロジェクト目標の指標とするよりもBBRMCI存在の前提条件として外部条件に含めるほうが適切かもしれない。今後の課題として、指標1の検討を提言する。

指標2については、研修やポスターの掲示を通じてBBRMCIの役割や目的が研修参加者や一般住民に広報されてきたが、プロジェクト目標達成のためには、プロジェクト後半、より戦略的かつ計画的な広報活動を行う必要があると考えられる。指標2についても、プロジェクト目標の達成を測る指標として適切かどうか、検討する必要があろう。

３－２ プロジェクトの促進要因・阻害要因

３－２－１　促進要因

(1) カウンターパートのモチベーションの高さ

カウンターパートは業務に対する意欲が高く、日本人専門家との協力関係も非常に良い。さらに、本プロジェクトによる研修施設の建設や調査用ボートの供与など、物質的な面での投入も彼らのモチベーションを大いに高めており、短期間で質の高い成果を上げるのに貢献している。

(2) BBRMCI の 10 年以上にわたる沿岸資源管理活動経験

BBRMCI は、10 年以上にわたって地域の沿岸資源管理を続けてきたことから、活動に必要な基本的知識や実践経験を有し、地域にネットワークを構築している。研修やワークショップの企画・実施に財政支援をしてくれる公官庁や NGO、技術や研修講師を提供してくれる大学や専門機関など、そのネットワークは幅広く、本プロジェクトの活動を円滑に進める上でも非常に有用である。

(3) イロイロ州政府の支援

イロイロ州政府は、本プロジェクトの円滑な実施に大きく貢献してきた。州政府は、BBRMCI による沿岸資源管理活動を州開発計画に包摂しており、BBRMCI の事例をグッドプラクティスとして、州内の他の LGU の再活性化に役立てたいと考えており、本プロジェクトへの期待も大きい。州政府は、BBRMCI の違法漁業取締り活動を積極的に支持するだけでなく、予算補助やマンパワーの補填(州農業局から職員 4 名を BBRMCI に出向中)など、年々BBRMCI への支援を増やしてきている。

３－２－２　阻害要因

(1) 政治情勢

政治派閥間の対立を背景に、バロタック・ヌエボ町は 2008 年以降、BBRMCI への分担金の支払いを停止し、BBRMCI に出向させていた職員を農業課に引き上げている。また、現実には違法漁業の取締り活動にも地方政治家の意向を無視できない側面があり、政治情勢がプロジェクト活動の進捗や効果の発現にマイナスの影響を与えていると考えられる。しかし、BBRMCI は過去にも政治情勢の強い影響にさらされながらこれを乗り越え、沿岸資源管理活動による成果を、漁民を中心とする構成 LGU 住民に示すことによってその信頼を勝ち得てきた。今後も同様の努力を継続していくことにより、LGU クラスターとしての機能を維持していって欲しい。

(2) 活動絞り込み戦略の不足

本プロジェクト前半では、PCRA の対象バランガイ数が当初の 8 から全沿岸バランガイ 31 に拡大するなど、時間的にも人員・予算的にもバランガイ・レベルでの活動への投入が増加した。そうした活動は、沿岸バランガイの基本データ収集や住民の沿岸資源管理への関心を高めることには貢献したが、これまでの BBRMCI の業績と経験を最大限に活用して、モデル化、一般普及化に資するための活動（オペレーション・マニュアル作成等）は遅れ気味になった。プロジェクト後半では、より活動を絞り込み、プロジェクト目標や上位目標の達成につなげていく活動に力を入れていく必要があるだろう。

(3) 日本人専門家不在時のコミュニケーション不足

日本人専門家の現地派遣期間が期待される成果の大きさに対してやや短いのに加え、プロ

ジェクト対象地が地方部にあることから（調達に時間がかかる、インターネット接続が不安定）、当初、プロジェクト・チーム内のコミュニケーションは必ずしも円滑ではなかった。しかし、こうした不備を補うために常駐のローカル・リサーチ・アシスタントを配置したことで、コミュニケーションの問題は大幅に改善され、活動の進捗管理にも効果が認められた。常時利用可能なコミュニケーション手段の不在と日本人専門家の派遣期間の短さは、今後もプロジェクトの成果発現を阻害する要因の一つであると考えられる。

第４章　評価５項目による評価

評価５項目に基づく評価結果は次の通り。

４－１　妥当性

本プロジェクトは、中間レビュー時点でもフィリピンの開発政策及び日本の ODA 政策、フィリピン社会のニーズに合致しており、妥当性は高い。

フィリピン政府の中期開発計画（2004-2010 年）は、貧困層に配慮しつつ、国民の基本的ニーズを充足させるために公共サービスを強化することを基本構想としており、本プロジェクトが目的とする沿岸資源管理の強化は、これに合致している。また、1991 年地方政府法は、複数の地方政府が共通の行政課題に取り組む方法として LGU のクラスター化を奨励しているが、本プロジェクトは LGU クラスターとしての BBRMCI の沿岸資源管理能力向上を目的とするものであり、フィリピンの目指す地域開発方針とも合致している。

本プロジェクトは、日本の対フィリピン援助方針、JICA の対フィリピン援助実施計画にも合致している。同時に、本プロジェクトの対象地域周辺のヴィサヤ海は国内でも有数の漁業地域であるが、マングローブ林やさんご礁の破壊を伴う沿岸環境破壊や違法漁業が多発し、環境問題が深刻化すると共に、農漁村資源の減少に伴う住民の収入減少が顕在化しており、ターゲットグループのプロジェクトに対する期待とニーズは依然高い。

４－２ 有効性

プロジェクト目標の達成は後半の活動成果如何に大きく負っているため、中間レビュー時点で有効性を判断するにはやや時期尚早と考えられる。しかしながら、研修やセミナーの準備・実施にかかるカウンターパートの能力はプロジェクト活動を通じて確実に強化されており、沿岸バランガイに居住する漁民および一般住民の多くも、本プロジェクトにおける違法漁業への取り組みと効果に対する認識を強めつつあるなど、一定の成果があがってきている。本プロジェクトの PDM は論理的に構成されていると考えられるので、プロジェクト後半で、現在まだ活動の本格化していない沿岸資源増殖活動のモニタリング、より戦略的な広報活動、オペレーション・マニュアルの完成と他の LGU クラスターへの普及準備等を予定通り推進し、成果を上げることができれば、プロジェクト目標は十分達成されると見込まれる。

４－３　効率性

本プロジェクトは効率的に実施されている。

投入は、十分活用されており、期待される成果の産出に貢献している。特に、供与された研修施設、調査用ボート、事務機器等は日常的に活用されており、維持管理状況も良好である。また、現地雇用のリサーチ・アシスタントを常駐させてコミュニケーションを円滑に保ち、ローカル・コンサルタントを多数雇用して、日本人専門家の不在時にも調査から研修まで幅広い業務を遂行するなど、少ない投入で期待される成果をあげる工夫がなされている。さらに、BBRMCI の 10 年以上に及ぶ沿岸資源管理経験とその間に築かれた地元関係機関とのネットワークは、本プロジェクトを効率的かつ効果的に進める上で非常に役立った。他方、プロジェクト前半では、時間的にも人員・予算的にもバランガイ・レベルでの活動への投入が増加し、ややバランスを欠いた。

４－４　インパクト

本プロジェクトでは、後半にインパクトにつながる活動が集中しているため、現時点で上位目標の達成見込みを評価することは難しい。しかし、上位目標の達成度を向上させるためには、BBRMCI を構成する LGU からプロジェクトに対するさらなる理解と支援が必要であることは明らかである。同時に、広報の強化も今後の重要な課題である。ポスター、パンフレット、ニュースレターなどの広報資料、州レベルのワークショップ、オペレーション・マニュアルなどは、BBRMCI の経験を他のクラスターに普及する重要なツールであり、プロジェクト後半ではこれらツールの完成と普及活動からの成果が期待される。

４－５　自立発展性

中間レビュー時点では、一般的な観点から自立発展性の見込みを推測するにとどめる。
組織面、技術面、財政面での自立発展性は、BBRMCI を構成する LGU からの支援が継続する限り、十分見込まれる。しかしながら、BBRMCI は、構成 LGU 首長の集合的な政治的意思により創設され、維持されてきた LGU クラスターであり、構成 LGU の政策（首長）が変われば、解散される可能性は常に存在している。本プロジェクトは BBRMCI 及び構成 LGU の沿岸資源管理能力を強化することにより、沿岸資源の増殖と漁業の振興を目指すものである。沿岸資源管理には長期的な戦略が必要であり、漁場が共有されていることから、集合的な取り組みなしには目に見える成果の達成は困難である。

構成 LGU による BBRMCI に対する支援が継続されれば、プロジェクト終了後にもプロジェクトの成果は発展的に維持されると見込まれる。プロジェクト・チームは構成 LGU に対し、条例で定められたメンバーLGU としての責任を誠実に果たすよう要請しているが、2010 年地方選挙を睨んで関係者間の政治的対立が顕在化しており、分担金の支払い停止や出向職員の引き上げの問題が生じている。また、中間レビュー時点では、BBRMCI スタッフに比べ、構成 LGU 職員のプロジェクトへの巻き込みが弱いように感じられたが、LGU 職員も本プロジェクトにおける能力強化の対象であり、プロジェクト終了後の自立発展性を高めるためにも構成 LGU および州政府の継続的な支援獲得が不可欠である。

４－６　結論

本プロジェクトは、フィリピンの開発政策及び日本の援助政策との整合性が高く、対象地域のニーズにも合致している。また、必要なデータの収集とカウンターパートの能力向上

という点においては高い有効性が認められる。投入に対する成果は十分であり、効率性は高い。インパクトと自立発展性については、プロジェクト後半での活動に多くを負っており、政治環境の影響も大きいと考えられるので、中間時点で予測するのは難しい。

自立発展性を高め、プロジェクトをより効果的に実施するには、BBRMCI を構成する LGU の理解と支援が不可欠である。構成 LGU が滞りなく分担金を負担し、必要なマンパワーの配置するよう、プロジェクト側から継続的に働きかけていくことが、自立発展性及びインパクトを確保する上でも重要である。

第５章　提言

以上のとおり、本プロジェクトは概ね適切に実施されているが、中間レビュー調査を通じて幾つか懸案事項も明らかになった。プロジェクト後半での改善に資するよう、次の諸点をプロジェクト・チームに提言する。

(1) BBRMCI のこれまでの業績や経験を最大限に活用すること

フィリピン国内でも、10 年以上にわたって LGU クラスターによる沿岸資源管理を継続している事例は非常に少ない。BBRMCI は既に 12 年の歴史を持っていることから、これまで積み重ねてきた業績や経験を最大限に活用し、近隣 LGU にも参考になる形にまとめて提供していくことが重要である。

(2) バランガイ・レベルへの過度な投入を避けること

プロジェクト前半では、当初 8 つのバランガイで実施する予定であった PCRA を 31 の全沿岸バランガイで実施するなど、活動の相当部分がバランガイ・レベルの活動に割かれた。その結果、BBRMCI の本来業務に支障がでてきており、また、オペレーション・マニュアルの作成など普及準備の活動が若干ずれ込んだ感がある。プロジェクト後半では、バランガイ・レベルへの過度な投入を避け、プロジェクト目標及び上位目標の達成に焦点を絞って戦略的に活動を進めるよう提言する。

(3) 州政府/町政府からのさらなる支援を獲得すること

BBRMCI は、構成 LGU の行政機構の一部として沿岸資源管理分野の政策策定やサービス提供を担っている。沿岸資源管理の問題は、BBRMCI の活動だけで解決できるものではなく、産業振興、教育、保健など様々な分野における行政政策と行政サービスとの協調と調整の中でより効果的に改善されていくものであろう。したがって、プロジェクト目標及び上位目標の達成可能性を高めるためにも、町政府や州政府との連携をより強化し、プロジェクトに対するより多くの理解と支援を獲得していくことが重要である。

(4) 沿岸資源調査や社会経済調査の結果を有効に活用すること

プロジェクト第 1 年次に作成された各種調査報告書には、沿岸環境データや社会経済データが含まれている。これらのデータは、BBRMCI のマスタープランの見直しや包括的沿岸資源管理計画の改訂の基盤となるものである。しかしながら、中間レビューの時点では、データの入力・分析が不十分であり、コミュニティへの調査結果のフィードバックも実施さ

れていなかった。一部のデータ収集は継続中であるが、収集済みデータは速やかにBBRMCIのデータベースに蓄積し、今後の活動や評価・モニタリングに有効に活用できるよう、整理しておくことを提言する。

(5) 戦略的な広報活動を強化すること

学生や関連NGO、住民組織等に対する沿岸資源管理に関する広報及び啓蒙活動（IEC）は、BBRMCIの通常活動の一つである。調査団は、プロジェクトの残り期間を使って、より戦略的な広報活動を強化することを奨励する。対象地域の住民、特に漁民は、日常的に現地語（イロンゴ語）を使用しているので、ポスターやパンフレットは現地語版の配布が望ましい。

(6) PDMの指標を見直すこと

指標の一部に改善の必要なものが散見される。プロジェクトの成果をより効果的に測定できるよう、可能な範囲で再検討することを提言する。

付属資料

１．　ミニッツ及び中間レビュー報告書

２．　評価グリッド

３．　供与機材リスト

MINUTES OF MEETING
BETWEEN
JAPANESE MID-TERM REVIEW TEAM
AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE PHILIPPINES
ON
JAPANESE TECHNICAL COOPERATION PROJECT
FOR
RESPONSIVE ECOSYSTEM-BASED MANAGEMENT IN BANATE BAY AND BAROTAC BAY THROUGH CAPACITY ENHANCEMENT OF BANATE BAY RESOURCE MANAGEMENT COUNCIL, INC.
SUB-PROJECT
UNDER
CAPACITY ENHANCEMENT PROGRAM FOR METRO-ILOILO GUIMARAS ECONOMIC DEVELOPMENT COUNCIL AND BANATE BAY RESOURCE MANAGEMENT COUNCIL INC.

The Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA"), organized the Mid-term Review Team (hereinafter referred to as "the Team"), headed by Mr. Kenzo IWAKAMI, Senior Representative of JICA Philippine Office for the purpose of conducting the Mid-term Review and preparation of necessary recommendations to the implementing agencies for Responsive Ecosystem-Based Management in Banate Bay and Barotac Bay Through Capacity Enhancement of Banate Bay Resource Management Council, Inc. Sub-Project (hereinafter referred to as "the Sub-Project").

The Team has carried out intensive study and analysis of the activities and achievements of the Sub-Project, and prepared the Mid-term Review Report attached hereto (hereinafter referred to as "the Report"), and presented it to Banate Bay Resource Management Council, Inc. (hereinafter referred to as "BBRMCI") on Joint Coordination Committee held on February 26th, 2009.

JICA and BBRMCI discussed the major issues pointed out in the Report, and agreed to recommend necessary measures to be taken accordingly towards the smooth and successful implementation of the Project.

Banate Bay, February 26th, 2009

Mr. Kenzo Iwakami
Senior Representative
JICA Philippine Office

Hon. Niel D. Tupas, Sr.
Governor
Province of Iloilo

Mid-Term Review
on
Japanese Technical Cooperation
for
Responsible Ecosystem-based Management of Banate Bay through Capacity Enhancement of BBRMCI
under
Capacity Enhancement Program
for
Metro Iloilo-Guimaras Economic Development Council and Banate Bay Resource Management Council Inc.
in
The Republic of the Philippines

Japan International Cooperation Agency (JICA)
and
Banate Bay Resource Management Council, Inc.

February 11th-27th, 2009

Table of Contents of the mid-term evaluation report

1. Outline of the Evaluation Study
1-1 Background of the Evaluation Study 1
1-2 Objectives of the Evaluation Study 1
1-3 Methodology of the Evaluation Study 2
1-4 Member of the Evaluation Study 2

2. Outline of the Project
2-1 Background of the project 2
2-2 Summary of the Project 3

3. Achievement of the Implementation Process
3-1 Achievement of the Project 4
3-1-1 Inputs 4
3-1-2 Project Activities 7
3-1-3 Achievement of the Outputs 10
3-1-4 Achievement of the Project Purpose 13
3-2 Factors Promoted/Inhibited Realizations of Effects
3-2-1 Facilitating Factors 13
3-2-2 Hindering Factors 14

4. Evaluation Results
4-1 Results of the Evaluation with the Five Criteria
4-1-1 Relevance 15
4-1-2 Effectiveness 15
4-1-3 Efficiency 15
4-1-4 Impact 16
4-1-5 Sustainability 16
4-2 Conclusion 16

5. Recommendations 17

ANNEX:
Annex 1 Project Design Matrix (PDM) (current)
Annex 2 List of Equipment
Annex 3 List of Interviewees

1. Outline of the Review

1-1 Background of the Review

In Iloilo City and neighboring LGUs in Iloilo Province located at Panay Island in the center of the Philippines, rapid urbanization of slum areas caused by the drastic population influx from rural areas, traffic congestion and other urban problems were observed accruing to the population increase and the change in regional economy. Also deterioration of coastal environment and resource management problems were emerging in rural areas of neighboring LGUs due to arbitral developments that led to poverty problem in the coastal areas despite facing to the Visayan Sea abundant in fishery resources in the Philippines.

In the "Medium Term Philippine Development Plan for the period 2004-2010" enhancement of public services to meet basic needs through anti-poverty measures was spelled out. In the "2006 Philippine State of the Nation Address" by President Gloria Macapagal-Arroyo, the enhancement of the competitive advantage of the "super regions" and effective utilization of LGU clusters were envisioned.

The government of the Philippines requested the government of Japan to assist it with a project that aims to revitalize the local areas through LGU clusters. Based on the request, JICA formulated a technical cooperation project for "Capacity Enhancement Program for Metro Iloilo-Guimaras Economic Development Council and Banate Bay Resource Management Council Inc. in the Republic of the Philippines", under which, two sub-projects, namely "Multi-Stakeholder Transport Planning and Traffic Management Improvement in Metro Iloilo-Guimaras" (hereinafter referred to as "the project") for the Metro Iloilo-Guimaras Economic Development Council (hereinafter referred to as "MIGEDC") and "Responsible Ecosystem-based Management of Banate Bay through Capacity Enhancement of BBRMCI" for the BBRMCI were launched.

At the mid-point of the project, JICA Philippines formed a mid-term review team and conducted a study on each sub-project. As for "Responsible Ecosystem-based Management of Banate Bay through Capacity Enhancement of BBRMCI", the study was conducted from February 11th to 27th, 2009 in order to review the progress and performance of the sub-project.

1-2 Objectives of the Review

The objectives of the mid-term review were;

1) to find the degree of achievement based on the Project Design Matrix (hereinafter referred to as "the PDM") and the Plan of Operation, and to analyze problems,
2) to review the project from five evaluation criteria, to recommend measures to be taken for the project team and BBRMCI, if necessary, and to discuss the direction of the project implementation for the rest of the project period, and
3) to make a mid-term review report as a result of mutual understanding.

1-3 Methodology of the Review

The review was conducted from February 11th to 27th, 2009;

1) by Japanese members of the mid-term evaluation team,
2) by collecting data and information through,
   - examining documents prepared by the project
   - interviewing Japanese experts, BBRMCI counterparts, the local consultants engaged in the project, and other concerned authorities
   - visiting the project sites
3) by assessing the degree of achievement of the project, and
4) by making a value judgment based on the overall achievement at the time of the mid-term evaluation from the viewpoints of five evaluation criteria.

Criteria	Definition
1. Relevance	This is a criterion for considering the validity and necessity of a project regarding whether the expected effects of a project (or project purpose and overall goal) meet with the needs of target beneficiaries; whether a project intervention is appropriate as a solution for problems concerned; whether the contents of a project is consistent with policies of Japan and Philippine Governments; whether a project strategies and approaches are relevant; and whether a project is justified to be implemented with public fund s of ODA.
2. Effectiveness	This is a criterion for considering whether the implementation of project has benefited (or will benefit) the intended beneficiaries or the target society.
3. Efficiency	This is a criterion for considering how economic resource/inputs are converted to results. The main focus is on the relationship between project cost and effects.
4. Impact	This is a criterion for considering the effects of the project with an eye on the longer term effects including intended or unintended, direct or indirect, positive and negative.
5. Sustainability	This is a criterion for considering whether produced effects continue after the termination of the assistance.

1-4 Member of the Evaluation Team

Mr. Kenzo Iwakami* (Team Leader)	Senior Representative JICA Philippine Office
Mr. Hozumi Katsuta (Deputy Leader)	Senior Advisor (Traffic Management) Japan International Cooperation Agency(JICA)
Dr. Masahiro Yamao*	Professor University of Hiroshima
Ms. Kumiko Kasai* (Cooperation Planning)	Project Formulation Advisor JICA Philippine Office
Ms. Miho Sakuma* (Project Evaluation)	Consultant International Development Center of Japan

* Members with the mark are in charge of evaluation on the BBRMCI Project.

2. Outline of the Project

2-1 Background of the Project

In the Philippines, the responsibility to provide people with basic public services, including optimal use and management of natural resources, was transferred from the Central

Government to LGUs by the Local Government Code of 1991. The LGUs, however, has not achieved expected results in local development and resources management due to insufficient human as well as financial capabilities to implement the services.

In the coastal villages (Barangays) of Iloilo Province, coastal environment has deteriorated due to destruction of mangrove forests and coral reefs as well as destructive fishing activities. This has caused a decline in fisheries resources and has resulted in increased poverty in the villages depending on these resources.

The government of the Philippines has requested the government of Japan to assist it with a project whose aim is to revitalize the local areas through LGU clusters.
The project was launched in September 2007 on the arrival of Japanese experts.

2-2 Summary of the Project (PDM Version1.2)

Overall Goal

LGU clusters for sustainable coastal resource management become functional in Iloilo Province.

Project Purpose

Inter-LGU coastal resource management system is strengthened in the Banate Bay and Barotac Bay Area in the Province of Iloilo.

Outputs

1) Foundation of Comprehensive Coastal Resource Management system is strengthened.
2) Capability of BBRMCI and Related Organizations is enhanced through training and disseminations.
3) Coastal Resource Management activities are enhanced.
4) Sustainable Use of Coastal Resources and Conservation is advocated.

Activities (as of the beginning of the project)

Activities under OUTPUT 1:

1-1.1 Conduct a coastal environment survey in the Banate and Barotac Bay area.
1-1.2 Conduct a resource utilization survey in the Banate and Barotac Bay area.
1-1.3 Work with BFARMCs to continue an environmental survey.
1-1.4 Work with BFARMCs to collect fish landing data.
1-2 Design a database for BBRMCI activities.
1-3 Review BBRMCI's master plan
1-4.1 Formulate an integrated coastal resource management plan in Banate and Barotac Bay area.
1-4.2 Formulate operation manuals of coastal resource management based on present activities of BBRMCI

Activities under OUTPUT 2:

2-1 Plan and conduct trainings of trainers for BBRMCI and LGU staff on project planning and resource management skills.

2-2 Plan and conduct training programs for BFARMC and Barangay leaders on project planning and resource management skills.

Activities under OUTPUT 3:

3-1.1 Review current law enforcement activities for illegal fishing.

3-1.2 Implement regular patrolling/enforcing activities

3-2.1 Review current MPA management activities.

3-2.2 Implement regular MPA management activities in collaboration with BFARMCs.

3-3.1 Set criteria and elect sites for rehabilitation/enhancement of coastal resources in each LGU.

3-3.2 Implement the above mentioned projects.

3-3.3 Monitor and evaluate the above mentioned projects

3-4 Review appropriate fishing and aquaculture technologies for reducing destructive fishing activities.3-1

Activities under OUTPUT 4:

4-1.1 Designate one person in charge of public relations.

4-1.2 Design and create website for BBRMCI

4-2 Publish and distribute news letters

4-3 Publish and distribute posters and pamphlet related to resource management information.

4-4.1 Plan and organize a provincial-wide workshop

4-4.2 Conduct a provincial-wide dissemination workshop to share lessons and good practices of BBRMCI with other coastal LGUs.4-1

3. Achievement of the Implementation Process

3-1 Achievement of the Project

3-1-1 Inputs

(1) Japanese Side

1) Dispatch of Japanese experts (Japanese Fiscal Year starts in April and ends in March.)

In total, five experts have been assigned to the project and provided technical advice on the capacity development of the counterparts and officials of BBRMCI member LGUs.

No.	Name of Expert		Field	Period of Assignment	
				From	To
1	Mr.	Kazuo UDAGAWA	Team Leader/Local Governance	7-Oct-2007	7-Nov-2007
				28 Feb 2008	08 Mar 2008
				14 Aug 2008	12 Sep 2008
				08 Oct 2008	12 Nov 2008
				15 Feb 2009	28 Feb 2009
2	Mr.	Morihiro TADA	Community Coastal Resource Management (Participatory Resource Management)	19 Oct 2007	17 Nov 2007
				03 Feb 2008	03 Mar 2008
				18 May 2008	11 Jun 2008
				17 Jul 2008	15 Aug 2008
				09 Jan 2009	07 Feb 2009
3	Mr.	Makoto INOUE	IT Public Relations/Project Coordinator	10 Nov 2007	09 Dec 2007
				15 Feb 2008	15 Mar 2008
				11 May 2008	09 Jun 2008
				09 Nov 2008	08 Dec 2008
				04 Feb 2009	05 Mar 2009
4	Mr.	Hiroaki TERASHIMA	Community Coastal Resource Management (Artificial Reef)	13 Jul 2008	01 Aug 2008
5	Mr.	Kazuhiro OKAMOTO	Community Facilitation	02 Sep 2008	11 Sep 2008

2) Project operation costs

Administration expenses were allocated for the implementation of the project activities. Construction of training center and research boat were sub-contracted to local contractors in the first year of the project.

Unit: JPY

No.	Category	JFY.2007	JFY.2008	Total
1	Administration (General Affairs)	7,469,000	8,095,000	15,564,000
2	Construction of training ceter	4,327,000		4,327,000
3	Construction of research boat		1,177,000	1,177,000
4	Training		354,000	354,000
	Total	11,796,000	9,626,000	21,422,000

3) Local consultants

Local consultants were hired to conduct surveys and to become resource persons for seminars and trainings. The details are shown in the table below.

FY2007

Task	Institution	Name
Oceanographic survey		Dr. Rex BALENA
Mangrove survey	DENR	Fuentes DAMASO
Sea grass bed survey	ISCOF:Iloilo State College of Fisheries	Melanie D.GARCIA
Coastal resource utilization survey	University of the Philippines of Visayas	Dr. Melina ANDALECIA and her survey team

FY2008

Task	Institution	Name
Participatory Coastal Resource Appraisal	ISCOF	Elvira DELGADO Glen CATOTO
Resource person for food	ISCOF	Rosalinda PARRENO

processing workshop		
Resource person for oyster culture workshop	ISCOF	Gildo BAYOGOS
Resource person for environmental monitoring and evaluation workshop	CENRO : Community Environment and Natural Resources Office	Prejeline SOLDEVILLA
Resource person for mangrove monitoring workshop	DENR	Vilma LIMATES
Resource person for law enforcement workshop	BFAR	Edwin JAVIER

4) Equipment

A list of equipment and facilities provided by the Project is attached as Annex 4.

5) Training in Japan

One of the counterparts completed his training in Japan.

Field	Planning of Fisheries Community Development
Period	07/13/2008-10/01/2008
Trainee	
Mr. Deogracias Calmorin	Aquaculturist II, Provincial Agricultural Office

(2) Philippine Side

1) Project counterparts

As of February 2009, 9 personnel (1 Executive Director of the BBRMCI, 2 officers from Anilao LGU, 1 officer from Barotac Viejo LGU, 4 officers from Province of Iloilo, and 1 officer of PNP Maritime Group) are assigned as the Project counterparts.

Name of Counterpart	Field	Present Post	Employment status*	Period of	
		Post at assignment time		From	To
Ms. Mary Lou Larroza	Coastal Resource Management	Executive Director	P	2007/9/1	Present
Ms. Ma. Auxilladora Perocho	Institutional Development	Institutional Development Unit Head	p	2007/9/1	Present
Ms. Ma. Yolanda Aberde	Mangrove and Land Use	Mangrove and Land Use Head	p	2007/9/1	Present
Ms. Roselle Bactung	Research and Data Banking	Research and Data Banking Staff	T	2007/9/1	Present
Mr. Jose Tamudtamud	Law Enforcement	Law Enforcement Unit Head	T	2008/3/1	Present
Mr. Nieva Evangelista	Community Facilitation	Administrative Staff	T	2008/11/1	Present
Mr. Deogracias Calmorin	Aquaculture/ AR Coordinator	Aquaculturist	P	2008/10/15	Present
Mr. Rudy Villaruel	Livelihood	Aquaculturist	P	2007/9/1	Present
Mr. Rodorigo Bayona	Law Enforcement	PNP Maritime Group	T	2007/9/1	Present

*Note: Permanent (P) or Temporary (T)

2) Project operation costs

Unit:Peso

No.	Description	TFY.2007	TFY.2008	Total
1	Budget for the BBRMCI	815,000	881,000	1,696,000
	Total	815,000	881,000	1,696,000

3-1-2 Project Activities

Activities under OUTPUT 1:

1-1.1 Conduct a coastal environment survey in the Banate and Barotac Bay area.

An oceanography and under water resource survey was conducted in the first year. And the result of these surveys was incorporated into the Coastal Environment and Resource Utilization Survey Report. The survey report was published in August 2008.

1-1.2 Conduct a resource utilization survey in the Banate and Barotac Bay area.

Participatory Coastal Resource Appraisal (PCRA) was conducted in all 31 coastal barangays of the 4 Municipalities. As a result, the Coastal Barangay PCRA Report and the Barangay Profile Report were published in August 2008. The results of Coastal Resource Utilization Survey were consolidated into the Coastal Environment and Resource Utilization Survey Report.

1-1.3 Work with BFARMCs to continue an environmental survey.

A monitoring structure was recommended in the Coastal Environmental Survey report. Some BFARMC volunteers have participated in the oceanographic survey monitoring.

1-1.4 Work with BFARMCs to collect fish landing data.

Fish catch data collection in one (1) Barangay per Municipality has been conducted in cooperation with BFARMC Chairmen of respective LGUs. And the data have been accumulated in BBRMCI database.

1-2 Design a database for BBRMCI activities.

A database for Barangay profiles, fishermen's registration, fishing vessels and project data was designed by Japanese experts. Collected data are being stored into the database by BBRMCI staffs.

1-3 Review BBRMCI's master plan

An ID/OS workshop was conducted for BBRMCI staff, LGU staff and TWG members to review the role of BBRMCI in September 2008. It was a starting point to revise the master plan. More activities are forthcoming.

1-4.1 Formulate an integrated coastal resource management plan in Banate and Barotac Bay area.

Necessity of the integrated coastal resource management plan was discussed during the ID/OS workshop held in the activity 1-3.

1-4.2 Formulate operation manuals of coastal resource management based on present activities of BBRMCI

Operation manuals of each unit of BBRMCI will be prepared by local consultants and published in 2009. Contents of the manuals will be decided through resource management

trainings. At the time of the mid-term review, only the mangrove assessment draft manual has been completed by BBRMCI staff and local consultants.

Activities under OUTPUT 2:

2-1 Plan and conduct trainings of trainers for BBRMCI and LGU staff on project planning and resource management skills.

A four-day ID/OS workshop and PCM workshop was held in September 2008. A series of resource management trainings such as Law enforcement and mangrove management were also conducted for BBRMCI staff and LGU staff from December 2008 to February 2009.

2-2 Plan and conduct training programs for BFARMC and Barangay leaders on project planning and resource management skills.

PCM workshops in 4 member LGUs and resource management trainings based on needs of barangays were conducted by BBRMCI and local consultants.

Activities under OUTPUT 3:

3-1.1 Review current law enforcement activities for illegal fishing.

A series of workshops for BBRMCI, LTF and communities was conducted in order to find out issues and problems on the current law enforcement system.

A law enforcement workshop was conducted and BFARMC staffs were trained as deputy enforcement officers.

3-1.2 Implement regular patrolling/enforcing activities.

A research boat was constructed by the Project and research/patrol activities have been practiced regularly.

3-2.1 Review current MPA management activities.

Coastal Environment Survey findings suggest that the current MPA system needs to be revised thoroughly in terms of management structure. A problem analysis workshop has been held.

3-2.2 Implement regular MPA management activities in collaboration with BFARMCs.

Surveillance activities with the research boat were conducted three times a week. At present, fishermen led by BFARMC are planning to conduct surveillance activities by themselves.

3-3.1 Set criteria and select sites for rehabilitation/enhancement of coastal resources in each LGU.

JICA Expert Team and BBRMCI set the Pilot Project Selection Criteria as follows.

Preconditions

1. Requests come from the communities and respective LGUs agree to support the pilot

project.

2. Technology applied to the pilot project is field-tested and readily available in the area.
3. The effects can be measured in a year.
4. Existence of strong Peoples' Organization and commitment is needed.
5. Funds are equally distributed among 4 municipalities.

Selection Criteria

1. It should enhance and/or regenerate coastal resources in the long run (municipality-wide activity). One pilot project per municipality will be selected.
2. It should be fishery related livelihood activities to support income of fisher folks and their families who participated in CRM activities (barangay-level activities). Two pilot projects per municipality will be selected.
3. It should be applicable to other communities.

Based on the criteria, the JICA Project Team selected Artificial Reef projects in Banate and Barotac Viejo, and will select the rest of the pilot projects.

3-3.2 Implement the above mentioned projects.

Artificial reef projects in Banate and Barotac Viejo has been started. Artificial reefs were partially deployed and the deployment is still on-going.

3-3.3 Monitor and evaluate the above mentioned projects.

Artificial reef usage and monitoring workshop was conducted in February 2009. Management planning for artificial reefs is on-going.

3-4 Review appropriate fishing and aquaculture technologies for reducing destructive fishing activities.

During the artificial reef usage and monitoring workshop, hook and line fishing near the artificial reefs was encouraged. A list of appropriate fishing gear was provided for the participants during the workshop.

Activities under OUTPUT 4:

4-1.1 Designate one person in charge of public relations.

The BBRMCI staff recognized necessity of the person in charge of PR, but nobody has been assigned yet.

4-1.2 Design and create website for BBRMCI.

A website for BBRMCI and links to websites of LGUs and Iloilo provincial government were prepared by Japanese Experts. However, they are not operational yet.

4-2 Publish and distribute news letters.

News letters (No. 1-3) were published and distributed to the concerned agencies and

institutions.

4-3 Publish and distribute posters and pamphlet related to resource management information.

Three kinds of brochures (all in English) and posters (one in Ilongo, two in English, 1000 pieces each) were printed. One of the English brochures was translated into local dialect and is under printing.

4-4.1 Plan and organize a provincial-wide workshop.

Regarding the province-wide workshop, preparation has not been started yet. A provincial-wide workshop is planned to hold at the end of the Project. The Project Team is considering inviting leaders from other provinces.

Aside from that, the stakeholder's assembly and 13th foundation celebration is held on February 26, 2009. The program includes coastal resource management seminar. Local media, politicians, fisher folks and other people are expected to be participated in.

4-4.2 Conduct a provincial-wide dissemination workshop to share lessons and good practices of BBRMCI with other coastal LGUs.

No activity has been conducted yet.

3-1-3 Achievement of the Outputs

The states of achievements are summarized as follows.

Output 1	Foundation of Comprehensive Coastal Resource Management system is strengthened.
Indicator	1-1 Data and information necessary to formulate comprehensive management plan are collected. 1-2 The above data are consolidated in a database at BBRMCI and shared with Provincial Government and LGUs. 1-3 BBRMCI's master plan is reviewed and revised. 1-4 Comprehensive Coastal Resource Management Plan and operational manual for resource management activities are formulated.

Output 1 was partially achieved at the time of the mid-term review. Indicators 1-1 was almost completed, but to accomplish indicators 1-2, 1-3, and 1-4, more efforts are needed in the latter half of the Project period.

A coastal environment survey including oceanographic, mangrove forest, sea grass bed, and coral reef surveys were conducted. Also a coastal resource utilization survey, which is a synthesis of eight barangay survey results, was conducted to gather information on the status and utilization of fisheries and related coastal resources and socio-economic characteristics of the communities in the selected sites. The results of both surveys were incorporated into the Coastal Environment and Resource Utilization Survey Report and published in August 2008. The survey report contains data needed for reviewing the Master Plan of BBRMCI and revising the Comprehensive Coastal Resource Management

Plan. It should be noted that through these surveys, indicators to measure the status of coastal environment were clarified and socio-economic features of the coastal communities were identified.

Another accomplishment is completion of the Participatory Coastal Resource Appraisal (PCRA) in all 31 coastal barangays of the 4 Municipalities. It helped to promote recognition of the fisher folks and residents in the area with respect to the status and utilization of fisheries and related coastal resources. The results were consolidated in the Coastal Barangay PCRA Report and the Barangay Profile Report.

However, data processing, analysis of data, and dissemination of the survey results to the communities were not fully implemented yet. Review of the BBRMCI Master Plan and revision of the Comprehensive Coastal Resource Management Plan should be done based on the survey results. The mid-term review team strongly recommends starting the preparation of operation manuals as soon as possible since the manuals are considered as very basic tools to share experiences and tested tactics of the BBRMCI with other possible LGU clusters who are interested in collective coastal resource management.

Output 2	Capability of BBRMCI and Related Organizations is enhanced through training and disseminations.
Indicator	2-1 BBRMCI and LGU staffs are able to facilitate community development workshops for the BFARMC and community leaders. 2-2 BBRMCI staffs are able to arrange trainings needed by barangay residents and at least one such training is held in each LGU.

Output 2 was almost achieved by the time of the mid-term review, and capability of the BBRMCI staff and related organizations is expected to be refined through the forthcoming trainings and seminars.

Regarding indicator 2-1, BBRMCI staff facilitated and conducted the Coastal Resource Management (CRM) and Project Cycle Management (PCM) workshops for barangay officials and BFARMC chairmen in four municipalities. The BBRMCI staff is capable of preparing, organizing and conducting PCM workshops by themselves.

As for indicator 2-2, a fish processing workshop arranged by BBRMCI was conducted in Barotac Nuevo. There will be shrimp paste processing workshop in Anilao. The BBRMCI staff strengthened capability in terms of preparing and organizing trainings and seminars for the community through the Project activities, however, even before the start of the Project, they were competent since rendering those services was one of the regular tasks of the BBRMCI.

Many of BBRMCI staffs are LGU officials who belong to member LGUs of BBRMCI and some are seconded from the provincial government of Iloilo. Considering the project

purpose and overall goal, more LGU official such as mayors, municipal councilors, municipal and provincial officers of planning section, agricultural section and cooperative section should be invited to relevant trainings and seminars.

Output 3	Coastal Resource Management activities are enhanced.
Indicators	3-1 Surveillance and law enforcement activities coordinated by BBRMCI functions and weekly patrolling /enforcing activities are conducted. 3-2 Regular MPA management activities by BFARMCs are realized at more than 2 MPAs. 3-3 At least 4 BFARMC conduct resource management activities in collaboration with villagers

Output 3 was partially achieved through the activities implemented in the first half of the project.

Regarding indicator 3-1, a research boat was provided by the Project and utilized for monitoring and patrolling activities 3 days a week. The mid-term review team interviewed with fisher folks and found that residents along the seashore realized the decrease of illegal fishing and the increase of fisheries and coastal resources during last 2 years. Law enforcement in the Barotac Bay and Banate Bay has been noticeably strengthened by the Project.

As for indicators 3-2 and 3-3, related activities have not been started yet, but barangay officials are beginning to aware of the problems on coastal resource management because of surveys conducted in the first year. CRM and Planning workshops were held in four municipalities and barangay officials and BFARMC chairmen prepared plans to protect MPA. The plans will be implemented in the next Japanese fiscal year.

The BBRMCI has been responsible for coastal resource management activities in the area. It is a rare case in the Philippines that a LGU cluster sustains and be effective in a certain sector more than 10 years. BBRMCI's regular coastal resource management activities were considerably enhanced by the Project. However, monitoring system on coastal resource management seems to remain as weak as before. Monitoring related activities should be strengthened in the remaining project period.

Output 4	Sustainable Use of Coastal Resources and Conservation is advocated.
Indicator	4-1 Web site is created to disseminate BBRMCI activities by the end of December, 2008. 4-2 At least 3 news letters are published annually. 4-3 At least 2 Posters and pamphlets are published by the end of December, 2009. 4-4 A provincial-wide dissemination workshop is conducted with 200 participants to share the experience and outcome of BBRMCI.

Output 4 was mostly achieved as scheduled by the time of the mid-term review.

Regarding indicator 4-1, a web site was prepared as planned, but not operational yet. Indicator 4-2 was achieved in FY2008 as the Project Team published 3 issues of news letters. As for indicator 4-3, three types of brochures and posters were prepared.

A province-wide workshop is planned to be held at the end of the Project.

Materials for Information, Education and Communication were prepared. However, more information should be disseminated for fisher folks and children in local language. The results of surveys are also expected to be provided for the communities and to be utilized for the future planning.

3-1-4 Achievement of the Project Purpose

Project Purpose	Inter-LGU coastal resource management system is strengthened in the Banate Bay and Barotac Bay Area in the Province of Iloilo.
Indicator	1. Budget(how much) and personnel (how many) allocation for the BBRMCI activities are properly secured by LGUs. 2. Effects of resource management activities are constantly and widely publicized.

Although inter-LGU coastal resource management system has been surely strengthened by the Project, it is still early to predict what to extent the Project Purpose will be achieved by the end of the Project. Political uncertainty is always an important factor in the Philippine governance.

Regarding indicator 1, political constraints could be considered as a hindering factor. There is a strong need to ensure the sustainability of this LGU cluster. The decrease of budget allocation and the number of staff is alarming. Financial and human resource support form the provincial government has been welcomed by BBRMCI and its member LGUs. But still commitments from respective LGUs are dependent rather on the political will than mere implementation of ordinances.

As for indicator 2, although the roles and objectives of BBRMCI have been re-oriented through trainings and information dissemination, more strategies and efforts are needed to attain the Project Purpose.

3-2 Factors that Promoted/Inhibited Realizations of Effects

3-2-1 Facilitating Factors

(1) Highly motivated counterparts

The counterparts were highly motivated and readily cooperated with Japanese Experts to conduct the project activities. Inputs from the Project such as construction of training facilities, provision of a research boat and necessary equipment also contributed to

increasing motivation of the counterparts. This led to the production of quality outputs within a short period.

(2) BBRMCI's more than ten year experience on coastal resource management

The BBRMCI has more than ten year experience on coastal resource management and established a network to obtain financial resources, human resources and technical assistance from local universities, governmental agencies and private organizations. It promoted smooth implementation the project activities.

(3) Support form the Province of Iloilo

A role played by the provincial government has increasingly become important for the project implementation. The provincial government has provided BBRMCI with annual budget support and also seconded 4 personnel from the Provincial Agricultural Office. The Province has been very supportive on BBRMCI's conducting law enforcement activities. The provincial government has been actively involved in the project activities and aimed to revitalize the other LGU clusters in the province.

3-3-2 Hindering Factors

(1) Political environment

Political environment in the member LGUs of BBRMCI seems to influence the Project in the negative way. The decrease of budget allocation and the number of staff for the BBRMCI is observed. The BBRMCI has weathered the past political changes by explaining its missions and showing the positive results of CRM to the local officials and residents of the member LGUs. The same efforts should be continued to maintain the functioning LGU cluster.

(2) Lack of strategies to focus on the selected activities

The Project seems to lack strategies to maximize the past achievements and experiences of BBRMCI and to focus on the selected activities relevant to the Project Purpose, instead the Project seem to broaden its activities and widen its covering area.

In the former half period, the Project seemed to spend more efforts and time on barangay-level activities such as PCRA than planned. Those activities contributed to accumulate basic data on coastal barangays and to increase awareness of the villagers on the necessity of CRM, but at the same time, more than targeted number of barangay-level activities consumed energy and time of BBRMCI staff which suppose to be allocated to the other activities.

(3) Lack of communication between Japanese Experts and the counterparts especially while no Japanese Experts were around

Assignments of Japanese Experts were relatively short and there was a difficulty to communicate through internet in the project area. After designating a local research

assistant, the implementation of the project activities became more manageable and organized. However, lack of reliable communication means and short assignments of Japanese Experts still remain as hindering factors for the remaining project period.

4. Evaluation Result

4-1 Results of the Evaluation with the Five Criteria

The summary of the evaluation with the five criteria is shown below.

4-1-1 Relevance

The project is still consistent with the government policies of the Philippines and Japanese ODA policies. At the same time, the Project is highly relevant to the needs of the target group and communities since the status of fisheries and coastal resources is not fully recovered yet and coastal resource management capability of BBRMCI needs to be enhanced.

4-1-2 Effectiveness

It is early to determine the effectiveness of the project at this point, because the achievement of the project purpose is heavily dependent on the activities scheduled in the latter part of the Project. However, it can be said that capability of the counterparts on preparing, organizing and conducting seminars and trainings has been substantially strengthened through the project activities. Fisher folks and residents in the coastal barangays have begun to aware of necessity of coastal resource management. Monitoring system for on-going activities and information dissemination activities in the four municipalities should be implemented during the remaining period in order to attain the Project Purpose.

4-1-3 Efficiency

Inputs were fully utilized to produce planned outputs in the course of the Project. Most of the provided equipment and facilities are heavily utilized and well maintained. Efforts of the counterparts, JICA experts and the communities supplemented the lack of manpower and budgetary constraints. Assignments of research assistant and local consultants made it possible for the project to cover a considerable range of activities from seminars and trainings to conducting surveys and to compilation of survey reports despite of short assignment of Japanese Experts. BBRMCI's more than ten year experience on coastal resource management and network contributed to implement project activities efficiently and effectively.

4-1-4 Impact

It is too early to evaluate the prospects of the achievement of the overall goal since the project has one and a half years to go.

To increase the possibility of achieving the overall goal, understanding and continuing

support from LGUs are imperative. At the same time, information dissemination for the communities inside/outside the BBRMCI member LGUs is crucial. PR materials, a provincial-wide workshop, operation manuals will be the influential tools to transfer BBRMCI's experience to other possible clusters. The Project Team is expected to strengthen those activities in the remaining period.

4-1-5 Sustainability

It is too early to evaluate the sustainability of the Project. Thus the mid-term review on the sustainability is limited in the general perspective.

As long as supports form the member LGUs toward BBRMCI exist, institutional/technical/ financial sustainability of the project is ensured. However, since the BBRMCI was established and has been sustained upon collective political will of the member LGUs, there is a possibility that the BBRMCI might be dissolved by the policies of the member LGUs. The project is aiming to strengthen management capacity of officials of the BBRMCI and its member LGUs in improving the status of fisheries and coastal resources in the area. When it comes to coastal resource management, a long-term strategy is necessary and without collective acts, substantial outcome cannot be achieved.

The sustainability of effects derived from the project is expected to become more promising, when the member LGUs can provide logistical support to BBRMCI. The Project team has been requesting to the member LGUs to allocate agreed amount of budget and appropriate and permanent manpower to perform their responsibilities. Officials of member LGUs are also the target of the capacity enhancement in the project and their active involvement in the project activities is encouraged. This is an important condition for making the project more sustainable.

4-2 Conclusion

The project is consistent with the Philippine government policy and the aid policy of the Japanese Government, and sufficiently reflects the needs of the local communities. The project is judged to be effective in terms of collecting necessary data and enhancing capacity of the counterparts. Despite relatively short assignments of Japanese experts, the implementation process in the former part of the project has been done generally on schedule thanks to the local staff and local consultants. It is too early to evaluate the impact and the sustainability of the project since the Project has more than one and a half years to go.

It should be noted that the sustainability and more effective implementation of the project are expected to become secure, when the member LGUs of the BBRMCI continuously allocate the appropriate number of personnel and necessary budget.

5. Recommendations

In general, the project was properly implemented as observed from the achievements. However, there are areas of concern that need improvement and to be highlighted in the recommendations to the project team and JICA Philippines are as follows.

(1) Maximize the past achievements and experiences of BBRMCI

The mid-term review team recommends the Project Team to maximize and to disseminate the past achievements and experiences of BBRMCI to neighboring LGUs who can learn from the BBRMCI's experiences.

(2) Reduce JICA Project Team's direct involvement in the barangay-level activities

The mid-term review team proposes the Project Team to lessen its direct involvement at the barangay-level activities and stay focus on the activities that are relevant to the Project Purpose in the remaining period.

(3) Seek more support from the provincial/municipal government

The BBRMCI is a part of the member LGUs, which formulate and implement various administrative policies including coastal resource management policies. The mid-term review team recommends the Project Team to take more actions to cooperate and coordinate with the provincial/municipal government. With support from the member LGUs of the BBRMCI and the provincial government of Iloilo, the project purpose and the overall goal can be attained.

(4) Utilize the survey results fully

The survey reports contain coastal environmental and socio-economic data needed for reviewing the Master Plan of BBRMCI and revising the Comprehensive Coastal Resource Management Plan. However, data processing, analysis of data, and dissemination of the survey results to the communities were not fully implemented yet. A part of data collection is still on-going. Accumulated data should be loaded into the BBRMCI database and organized for the future evaluation.

(5) Strengthen strategic information dissemination activities

One of the BBRMCI's regular activities is to provide information, education and communication on coastal resource management to students, concerned NGOs, and People's Organizations. The mid-term review team encourages the Project Team to enhance this line of activities in the remaining project period.

Annex 1 Project Design Matrix (current)

CAPACITY ENHANCEMENT PROGRAM FOR METRO ILOILO-GUIMARAS ECONOMIC DEVELOPMENT COUNCIL AND BANATE BAY RESOURCE MANAGEMENT COUNCIL,
Project Design Matrix for the "Coastal Resource Management sub project"
Project Term: 3years from September, 2007
Implementation Agency: Banate Bay Resource Management Council Inc (BBRMCI)
Target Area: Banate Bay and Barotac Bay area **Ver. 1.0**
Target Groups: Community of Coastal Barangays in Barotac Viejo, Banate, Anilao, and Barotac Nuevo **Date: 2008 March 6**
Reorganized

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumption
[Overall Goal] **LGU clusters for sustainable coastal resource management become functional in Iloilo Province.**	The coastal resource management system under inter LGU in Banate Bay is practiced in other areas as a good model in Iloilo Province.	The report of Iloilo Provincial Development Council (PDC report)	There is no dramatic change in Decentralization policy of the Philippines.
[Project Purpose] Inter-LGU coastal resource management system is strengthened in the Banate Bay and Barotac Bay Area in the Province of Iloilo.	Budget(how much) and personnel (how many) allocation for the BBRMCI activities are properly secured by LGUs. Effects of resource management activities are constantly and widely publicized.	Project report Program of work Approved budget	The cooperation structure of LGUs in Iloilo Province is continued
[Outputs] **1. Foundation of Comprehensive Coastal Resource Management system is strengthened.**	1-1 Data and information necessary to formulate comprehensive management plan are collected. 1-2 The above data are consolidated in a database at BBRMCI and shared with Provincial Government and LGUs. 1-3 BBRMCI's master plan is reviewed and revised.	Data center recorded Plan Operation Manual PNP Report Project Report	Support for the Project from concerned Local Government Units will continue through BBRMCI-PMO
2. Capability of BBRMCI and Related Organizations is enhanced through training and disseminations	2-1 BBRMCI and LGU staffs are able to facilitate community development workshops for the BFARMC and community leaders. 2-2 BBRMCI staffs are able to arrange trainings needed by barangay residents and at least one such training is held in each LGU. 2-3 BB	TNA results and Training Proposals submitted Training documentations Project Proposal packages	
3. Coastal Resource Management activities are enhanced	3-1 Surveillance and law enforcement activities coordinated by BBRMCI functions and weekly patrolling /enforcing activities are conducted. 3-2 Regular MPA management activities by BFARMCs are realized at more than 2 MPAs. 3-3 At least 4 BFARMC conduct re	Surveillance/ enforcement report submitted Activities documentations and report	
4. Sustainable Use of Coastal Resources and Conservation is advocated.	4-1 Web site is created to disseminate BBRMCI activities by the end of December, 2008. 4-2 At least 3 news letters are published annually. 4-3 At least 2 Posters and pamphlets are published by the end of December, 2009. 4-4 A provincial-wide disseminatio		

[Activities] 1-1.1 Conduct a coastal environment survey in the Banate and Barotac Bay area. 1-1.2 Conduct a resource utilization survey in the Banate and Barotac Bay area. 1-1.3 Work with BFARMCs to continue an environmental survey. 1-1.4 Work with BFARM 2-1 Plan and conduct trainings of trainers for BBRMCI and LGU staff on project planning and resource management skills. 2-2 Plan and conduct training programs for BFARMC and Balangay leaders on project planning and resource management skills. 3-1.1 Review current law enforcement activities for illegal fishing. 3-1.2 Implement regular patrolling/enforcing activities 3-2.1 Review current MPA management activities. 3-2.2 Implement regular MPA management activities in collaboration with BFARMCs. 4-1.1 Designate one person in charge of public relations. 4-1.2 Design and create website for BBRMCI 4-2 Publish and distribute news letters 4-3 Publish and distribute posters and pamphlet related to resource management information. 4-4.1 Plan and	**[Input]** < Philippine side > 1. Assignment of counterpart personnel 2. Office space, Running cost for the project office 3. Other required expenditure for Philippine side counterparts	< Japanese side > 1. Dispatch of experts in: -Chief Advisor -Community CRM -Local Governance/Project coordinator -Community Facilitation -IT Public Relations -Other when its necessary 2. Provision of equipment 3. Trainings 4. Dispatch of a study team	Counterparts who participate in the training and activities will not change during the Project period [Pre-condition] BBRMCI, Provincial Government, and member LGUs agree on the support of the Project.

Annex 2 List of Equipment

Provision/Procurement/Maintenance of the Equipment

No.	Date of Arrival	Description			Amount	Place of Storage	Remarks
		Item	Manufacturer	Model Number			
1	10/7/2007	Underwater Camera	OLYMPUS	μ770SW	1	BBRMCI	
2	10/7/2007	UPS	APC	ES500	2	BBRMCI	
3	10/7/2007	Eco sounder	Lowrance	LMS-520C	1	BBRMCI	
4	10/7/2007	Secchi disc	Miyamoto Riken Kougyou	Mar-37	1	BBRMCI	
5	10/7/2007	Salinometer	Lutron	YK-31SA	1	BBRMCI	
6	10/19/2007	AVR	Mitsui		2	BBRMCI	
7	10/26/2007	Laptop Computer with software	Packard Bell	Argo C2	1	BBRMCI	
8	11/10/2007	BOTTOM SAMPLER	Miyamoto Riken Kougyou		1	BBRMCI	
9	11/12/2007	PH/DO meter	Pasco	PS-2002	1	BBRMCI	
10	11/12/2007	Turbidity meter	Pasco	PS-2122	1	BBRMCI	
11	11/28/2007	Public Address System	YAMAHA	Stagepass 300	1	BBRMCI	
12	2008/2	Construction of Training center			1	BBRMCI	
13	2008/3	Digital Duplicator	Kyocera	FS-1016 MFP	1	BBRMCI	
14	3/11/2008	Desktop computer (high spec) with software	Acer	Veriton6900	1	BBRMCI	has been repaired 3 times
15	3/11/2008	Desktop computer with software	Acer	Aspire M5630	1	ILOILO PROVINCE	
16	3/11/2008	Memory Stick	Imation	1gb	2	BBRMCI	
17	3/11/2008	Dot matrix printer	Epson	LX300+	1	BBRMCI	
18	3/11/2008	Multimedia Projector	Toshiba	TLP-X2000	1	BBRMCI	
19	7/25/2008	Construction of Patrol Boat	Double Z		1	BBRMCI	
20	8/19/2008	Dot matrix printer	Epson	LX300+	1	BBRMCI	
21	2008/9	Digital Video Camera	Canon	FS11	1	BBRMCI	
22	10/15/2008	Life vests			10	BBRMCI	
23	10/16/2008	Binoculars	Hahn		4	BBRMCI	
24	10/25/2008	A3 Printer	hp	deskjet 1280	1	BBRMCI	
25	10/25/2008	Printer with scanner	Epson	Stylus CX5500	1	BBRMCI	
26	11/15/2008	Handsets with Licenses	iCOM	V-8	8	BBRMCI	
27	11/15/2008	Licensed Base Station	iCOM	2200	1	BBRMCI	
28	2007/11	Mobile GPS	Garmin	Etrex Summit	4	BBRMCI	

Annex 3 List of Interviewees

List of Interviewees

1. Mr. Deo Calmorin, Aquaculturist II, Provincial Agriculture Office, C/P for CO & Institutional Development in BBRMCI
2. Mr. Rudy Villaroel, Aquaculturist II, PAO, C/P for Livelihood in BBRMCI
3. Ms. Auxilladora Perocho, Agricultural Technologist, Municipal Agriculture Office of Anilao, C/P for Institutional Development in BBRMCI
4. Ms. Yolanda Aberde, Agricultural Technologist, MAO-Anilao, C/P for Mangrove & Land Use
5. Ms. Mary Lou Larroza, Executive Director of BBRMCI
6. Ms. Marilyn Regalado, Chairperson, TACCAS, Talokgangan, Banate
7. Ms. Roselle Bactung, Provincial Agriculture Office, C/P for Research and Data Banking in BBRMCI
8. Mr. Jose Tamudtamud, Municipal Agriculture Office-Barotac Viejo, C/P for Law Enforcement in BBRMCI
9. Hon. Carlos Cabangal, Mayor of Banate
10. Ms. Elsia Boglosa, Municipal Planning and Development Coordinator, Banate
11. Hon. Raul Tupas, Mayor of Barotac Viejo
12. Mr. Barila, Municipal Agriculture Officer-Barotac Viejo
13. Ms. Lydia Barrido, Municipal Planning and Development Coordinator, Barotac Viejo
14. Hon. Teresa Debuque, Mayor of Anilao
15. Mr. Compendio, Municipal Agriculture Officer
16. Mr. Kazou Udagawa, Chief Advisor, IC Net. Ltd
17. Mr Makoto Inoue, Project coordinator, Japanese expert on IT/PR
18. 6 members of Sangguniang Bayan in Barotac Viejo
19. 6 members of Sangguniang Bayan in Anilao

List of participants of FGDs in the Barangays

1) Focus Group Discussion in San Francisco, Barotac Viejo
(February 16, 2009)

1. Mr Edito Pescaderia, Barangay Captain
2. Mr Jose de la Cruz, Barangay Kagawad
3. Mr Revey Deocampo, Banrangay Kagawad
4. Mr Democrito Baldore Jr, Barangay Kagawad
5. Ms Gemma Naval, Barangay Kagawad
6. Mr Renante Castillon, Barangay Kagawad
7. Mr Ernie Descaderia, Barangay Kagawad
8. Mr Sammy Balayo, Barangay Kagawad
9. Ms Joyce Balayo, Barangay Secretary
10. Ms Josephine Balayo, Barangay BRK
11. Mr Lerio Eleuterio, President, SF Small Fisherfolks Association
12. Ms Gemma de la Cruz, Vice-President, SF Small Fisherfolks Association
13. Ms Nieva Balayo, Secretary, SF Small Fisherfolks Association
14. Ms Evelyn Barotas, Treasurer, SF Small Fisherfolks Association
15. Ms Susana Baldeo, Auditor, SF Small Fisherfolks Association
16. Ms Hydee Balayo, Buisness Manager, SF Small Fisherfolks Association
17. Ms Genalyn Baldeo, PRO, SF Small Fisherfolks Association
18. Ms Alma Dechoso, member

19. Ms Elvira Balanlayos, member
20. Mr Rodney Balayo, member
21. Ms Lydia Baldove, member
22. Mr Mart Lotis Balayo, member
23. Mr Jerry Hechanova, member
24. Ms Elsie Balayo, member
25. Ms Marilyn Baldeo, member
26. Mr Gregorio Balguin, member
27. Mr Paquito Barzo, member

2) Focus Group Discussion in Puerto Princesa, Barotac Viejo
(February 16, 2009)

1. Ms Julie Guillermo, BFARMC
2. Mr Toeddy Tabacon, Barangay Captain
3. Mr Vicsafe Lumampao, Barangay Kagawad, member PP Small Fisherfolks Association
4. Mr Jose Bartados, Assistant Treasurer, PP Small Fisherfolks Association
5. Ms Elny Baldureso, member
6. Ms Belen Ortega, Treasurer
7. Ms Marylo Reyes, Barangay Secretary
8. Mr Lolito Policarpio, Vice-President
9. Ms Rosalie Ramos, member
10. Ms Asuzena Ortega, member
11. Ms Generosa Dusaran, member
12. Mr Edelson Barber, member
13. Mr Benny Bundag, member
14. Ms Felissa Barber, member
15. Mr Edmund Brillantes, member
16. Ms Rosenia Anas, member
17. Mr Jesus Barber, member
18. Ms Analyn Aspan, member

3) Focus Group Discussion in Barangay Talisay:
(February 17, 2009)

33 participants (list was lost)

4) Focus Group Discussion in Barangay Lanas:
(February 17, 2009)

1. Mr Antonio Pilo, BFARMC
2. Mr Jonie de la Pena, Member Fisherfolks Association
3. Mr Melvin Galawra, Member Fisherfolks Association
4. Mr Redan Dequito, Member Fisherflks Association
5. Mr Arnel de la Pena, Member Fisherfolks Association
6. Mr Arturo Galawra, Member Fisherfolks

5) Focus Group Discussion in Barangay Alacaydan, Banate
(February 18, 2009)

1. Mr Boyet Bacruya, Barangay Captain
2. Mr Florentino Luceno, BFARMC Chairperson
3. Ms Rechelle Lamparero, Brgy Kagawad
4. Mr Lowenn Angelo Malolos, SK Chairman
5. Ms Loredele Caalem, Brgy Secretary
6. Mr Febin Bacruya, Brgy Kagawad
7. Ms Miriam Cudo, Brgy Kagawad
8. Mr Jolysis Fuentes, Brgy Kagawad
9. Mr Larry Babiera, Brgy Kagawad
10. Mr Freddie Banedro, Brgy Kagawad
11. Mr Darnil Bosque, Brgy Kagawad

6) Focus Group Discussion in Barangay Talokgangan
(February 18, 2009)

1. Mr Frankie Baccera, Kagawad
2. Mr Ignarce Estonillo, Barangay Captain
3. Mr Efren Barba, Kagawad
4. Mr Sherwin Bebing, member fisherfolks
5. Mr Roberto Buenvoalda, President, TACCAS
6. Mr Samuel Gayangorsa, fisherfolk
7. Mr Felix Barbe,
8. Mr Richard Baloa, Fisher
9. Ms Consuelo Deloviar, member TACCAS
10. Mr Arnulfo Babac,
11. Mr Pablito Babac,
12. Ms Marilyn Regalado, BFARMC
13. Mr Danilo Babac,
14. Mr Rogelio Babac
15. Mr Ramil Babac
16. Mr Danilo Borba
17. Ms Dalia Buenvenida, TACCAS member
18. Ms Nerma Badinas, member TACCAS
19. Mr Glecerio Badinas, Vice-President, TACCAS
20. Mr Jim Catalogo, Kagawad
21. Ms Jean Saburiga, Barangay Treasurer
22. Mr Nestor Elimare, Brgy Clerk

7) Barangay Sta. Rita, Anilao
(February 19, 2009)

1. Ms Gloria Batayda, member
2. Ms Ma. Luz Celis
3. Ms Lilian Aquino
4. Ms Rita Villarta
5. Mr Carlito Silya
6. Mr Lito Laroscain
7. Ms Rowena Demit

8. Ms Nilda Deocares
9. Ms Elena Cusampang
10. Ms Nenita Aquino
11. Ms Editha Demit
12. Mr Nestor Arandilla
13. Mr Joselito Bosque
14. Mr Anacreo Aprong Jr
15. Mr Warlito Arandilla
16. Ms Jonai Paterno
17. Mr Ermelo Arano
18. Mr Dominador Sazon
19. Mr Edmar Jaen

8) Barangay Dangulaan, Anilao
(February 19, 2009)

1. Mr Miatapal Dasfa, President
2. Mr Arnaldo Lagamon, Business Manager
3. Mr Richard Pineda, member
4. Mr Sixto Bebedor
5. Mr Daniel Montano
6. Ms Tarcela Bingos
7. Mr Pio Apil, Barangay Secretary
8. Mr Pepito Antopna
9. Mr Charito Fernandes
10. Mr Lendo Torres
11. Mr Roy Corona
12. Mr Leo Alipa
13. Mr Jimmy Demotica
14. Mr Hilario Dalem
15. Ms Milagros Matuturo
16. Mr Danilo Longreo
17. Ms Veronica Langreo, Kagawad
18. Mr Henry Dalino
19. Mr Jose Burgos, Barangay Captain
20. Ms Merly Donela
21. Ms Margie Torres
22. Ms Shiela Montano

9) Barangay San Salvador, Banate
(February 19, 2009)

1. Joeffrey Ramos, Barangay Captain
2. Mr Fernando Baldemor Jr, Kagawad
3. Mr Billy Buna, Kagawad
4. Mr Edgar Gustaga, Kagawad
5. Ms Medy Cardoza, Brgy Secretary
6. Ms Elna Bebing, BHW
7. Ms Linda Caldea, BHW

8. Ms Lucy Caldea, BHW
9. Ms Leda Baldemor, BHW
10. Ms Elizabeth Enarsao, BHW
11. Ms Adelfa Batiller, BHW
12. Ms Rosemarie Salmorin, BHW
13. Ms Nancy Barba, BHW
14. Ms Wilma Baes, BHW
15. Mr Elmer Sisnorio, Barangay Tanod
16. Mr Nestor Baitan, Brgy Tanod
17. Mr Ludivico Parman, Brgy Lupon
18. Mr Vicente Baitan,
19. Ms Gloria Panganiban, BHW
20. Mr Ramon Cardoza, FARMC
21. Ms Mela Bacarejos, BHW
22. Ms Roselie Salmorin, BHW

10) San Juan, Barotac Viejo
(February 20, 2009)

1. Mr Melquesedic Balino, fisherman
2. Mr Felicito Felomino, fisherman
3. Mr Danilo Siocon, fisherman
4. Mr Francisco Gonzales
5. Mr Dodgie Reblando
6. Mr Dodgie Barboza
7. Mr Johny Bachoco
8. Mr Sandy Francisco
9. Mr Romeo Francisco
10. Mr Domingo Mata
11. Mr Sandy Alfaro
12. Mr Rolly Barluado
13. Mr Julie Batiller
14. Mr Antonio Tan
15. Mr Edmundo Baldeviesco
16. Mr Rafael Darroca, Kagawad
17. Mr Roberto Malinao
18. Ms Teresa Barluada
19. Mr Erwin Barluado
20. Mr Peter Barison
21. Mr Poperio Brendia
22. Mr Charlie Rebrando
23. Mr Rodney Barluado
24. Ms Rosana Vito
25. Ms Merla Arcano
26. Mr Dominador Apollo
27. Mr Dennis Apollo
28. Mr Ricardo Martinez

イロイロ州地域活性化・LGU クラスター開発プロジェクト
都市交通管理サブプロジェクト評価グリッド

<table>
<tr><th rowspan="2">評価項目</th><th colspan="2">評価設問</th><th rowspan="2">調査結果</th></tr>
<tr><th>大項目</th><th>小項目</th></tr>
<tr><td rowspan="2">投入の確認</td><td rowspan="2">日本側の投入は計画通りか</td><td>専門家の数、時期、期間、専門分野</td><td>経常費は、プロジェクト活動費として使われた。研修センターの建設及び調査用ボートの建造は、初年度に地元の建設・造船業者に再委託された。
（単位：日本円）
<table>
<tr><th></th><th>項目</th><th>2007 年度</th><th>2008 年度</th><th>計</th></tr>
<tr><td>1</td><td>経常費</td><td>7,469,000</td><td>8,095,000</td><td>15,564,000</td></tr>
<tr><td>2</td><td>研修センターの建設</td><td>4,327,000</td><td></td><td>4,327,000</td></tr>
<tr><td>3</td><td>調査用ボートの建造</td><td></td><td>1,177,000</td><td>1,177,000</td></tr>
<tr><td>4</td><td>研修</td><td></td><td>354,000</td><td>354,000</td></tr>
<tr><td></td><td>合計</td><td>11,796,000</td><td>9,626,000</td><td>21,422,000</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>ローカル・コンサルタント等の投入</td><td>本プロジェクトでは、日本人専門家の現地滞在期間が比較的短い。このため、日本人専門家の不在を補う目的でリサーチ・アシスタント1名が雇用され、活動進捗とコミュニケーションの円滑化を図った。また、各種調査の実施及び研修やセミナー開催時の講師としてローカル・コンサルタントが雇用された。ローカル・コンサルタントの雇用詳細は、下表のとおり。
2007年度
<table>
<tr><th>業務内容</th><th>所属機関</th><th>名前</th></tr>
<tr><td>海洋調査</td><td></td><td>Dr. Rex BALENA</td></tr>
<tr><td>マングローブ調査</td><td>環境天然資源省（DENR）</td><td>Fuentes DAMASO</td></tr>
<tr><td>海草調査</td><td>イロイロ水産大学（ISCOF）</td><td>Melanie D.GARCIA</td></tr>
<tr><td>沿岸資源利用状況調査</td><td>フィリピン大学ヴィサヤ校(UPV)</td><td>Dr. Melina ANDALECIA and her survey team</td></tr>
</table>
2008年度
<table>
<tr><th>業務内容</th><th>所属機関</th><th>名前</th></tr>
<tr><td>参加型沿岸資源調査</td><td>ISCOF</td><td>Elvira DELGADO
Glen CATOTO</td></tr>
<tr><td>食品加工ワークショップ講師</td><td>ISCOF</td><td>Rosalinda PARRENO</td></tr>
<tr><td>カキ養殖ワークショップ講師</td><td>ISCOF</td><td>Gildo BAYOGOS</td></tr>
<tr><td>環境モニタリング評価講師</td><td>コミュニティ環境天然資源事務所（CENRO）</td><td>Prejeline SOLDEVILLA</td></tr>
<tr><td>マングローブ・モニタリグ・ワーク</td><td>DENR</td><td>Vilma LIMATES</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

ショップ講師		
法執行ワークショップ講師	BFAR	Edwin JAVIER

研修の時期、期間、内容

イロイロ州政府農業局より BBRMCI に出向中のカウンターパート 1 名が日本研修に参加した。

分野	漁村コミュニティ開発計画
期間	2008 年 7 月 13 日-2008 年 10 月 1 日
受講者	Deogracias Calmorin
所属機関	Aquaculturist II, Provincial Agricultural Office

設備・機材供与の質・量、時期、種類、費用

経常費は、プロジェクト活動費として使われた。研修センターの建設及び調査用ボートの建造は、初年度に地元の建設・造船業者に再委託された。

（単位：日本円）

	項目	2007 年度	2008 年度	計
1	経常費	7,469,000	8,095,000	15,564,000
2	研修センターの建設	4,327,000		4,327,000
3	調査用ボートの建造		1,177,000	1,177,000
4	研修		354,000	354,000
	合計	11,796,000	9,626,000	21,422,000

フィリピン側の投入は計画通りか

C/P の配置（人数、時期、専門分野）

2009 年 2 月現在、9 名（BBRMCI 事務局長 1 名。アニラオ町職員 2 名、バロタック・ビエホ町職員 1 名、イロイロ州政府職員 4 名、国家警察海上保安グループ職員 1 名）が本プロジェクトのカウンターパートとして配置されている。バナテ町からは職員 1 名が出向していたが、同職員がイロイロ州政府農業局に移籍（現在は州から BBRMCI に出向中）したため、中間レビュー時点では空席になっていた。また、バロタック・ヌエボ町は、2008 年末に BBRMCI に出向させていた職員 1 名を町農業課に引き上げたまま補充していない。

名前	担当業務	役職	雇用形態	期間
Mary Lou Larroza	沿岸資源管理	事務局長	契約（任期付き、更新可）	2007 年 09 月 01 日～現在
Ma.Auxilladora Perocho	組織・制度開発	組織・制度開発ユニット・リーダー	常雇い	2007 年 09 月 01 日～現在
Ma.Yolanda Aberde	マングローブ／土地利用	マングローブ／土地利用ユニット・リーダー	常雇い	2007 年 09 月 01 日～現在
Roselle Bactung	調査/データ集積	調査/データ集積ユニット・メンバー	臨時雇い	2007 年 09 月 01 日～現在
Jose Tamudtamud	法執行	法執行ユニット・リーダー	臨時雇い	2008 年 03 月 01 日～現在

<table>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>
<table>
<tr><td>Nieva Evangelista</td><td>コミュニティ・ファシリテーション</td><td>管理スタッフ</td><td>臨時雇い</td><td>2008 年 11 月 01 日～現在</td></tr>
<tr><td>Deogracias Calmorin</td><td>養殖/人工漁礁</td><td>水産養殖専門家</td><td>常雇い</td><td>2008 年 10 月 15 日～現在</td></tr>
<tr><td>Rudy Villaruel</td><td>生計向上</td><td>水産養殖専門家</td><td>常雇い</td><td>2007 年 09 月 01 日～現在</td></tr>
<tr><td>Rodorigo Bayona</td><td>法執行</td><td>国家警察海上保安グループ</td><td>臨時雇い</td><td>2007 年 09 月 01 日～現在</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>施設・機材の供給</td><td>専門家チームの作業スペース提供、電気代等負担</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>運営費（金額、執行時期）</td><td>BBRMCI の各年度予算の主な出所は、BBRMCI の構成 LGU からの分担金拠出及びイロイロ州政府からの予算補助である。
（単位：フィリピンペソ）
<table>
<tr><td>項目</td><td>2007 年度</td><td>2008 年度</td><td>合計</td></tr>
<tr><td>BBRMCI 予算</td><td>815,000</td><td>881,000</td><td>1,696,000</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td rowspan="8">実施プロセスの検証</td><td>計画との比較</td><td>計画からの変更点、進んでいる点・遅れている点とその理由</td><td>プロジェクト前半でバランガイ・レベルの活動が増加したため、オペレーション・マニュアル作成や広報・啓蒙活動がやや後ろにずれ込んでいる。</td></tr>
<tr><td>技術移転の方法</td><td>良い点、問題点</td><td>人工漁礁を運搬する筏をプロジェクト・チームが設計し、現地で建設を依頼したり、人工漁礁の作成を漁業組合メンバーに任せるなど、プロジェクト後も現地住民が活用できそうな工夫や技術を移転できた点は高く評価できる。しかし、BBRMCI スタッフへの技術移転については、もともと BBRMCI スタッフに沿岸資源管理に関する知識や経験がかなりの程度あったことから、オペレーション・マニュアルの作成などスキルの整理・業務手順のモデル化など、他の LGU クラスターへの普及に焦点を当てた活動を早めに行ってもよかったのではないか。</td></tr>
<tr><td>モニタリング・システム</td><td>JCC の開催状況、出席状況、モニタリングの主体・適切さ、モニタリング結果の反映状況</td><td>大きな問題なし。イロイロ州開発計画局がモニタリング機能を果たしている。JCC は 2008 年 3 月に開催され、PDM の修正が承認された。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">意思決定メカニズム</td><td>JCC の意思決定メカニズムが機能しているか</td><td>政治的対立が原因となり、2008 年から BBRMCI 理事会の意思決定にはバロタック・ヌエボ町の参加が得られていない状態。</td></tr>
<tr><td>C/P 機関の意思決定メカニズムが機能しているか</td><td>BBRMCI 事務局の意思決定には特に問題なし。</td></tr>
<tr><td>プロジェクト・チーム内の意思決定メカニズムが機能しているか</td><td>日本人専門家の現地滞在期間の短さやインターネット接続が不安定さなどから、チーム内のコミュニケーション上の問題は完全に解決されたとは言えず、意思決定メカニズムにも影響を与えていると考えられる。</td></tr>
<tr><td></td><td>問題点、改善すべき点はあるか</td><td>問題はあるが、政治的な対立が原因なので、プロジェクト側の努力だけで改善できる問題ではない。町政府や州政府との連携をより強化し、プロジェクトに対するより多くの理解と支援を獲得していくことが重要である。</td></tr>
<tr><td>コミュニケーション</td><td>日本人専門家と C/P とのコミュニケーション</td><td>概ね良好だが、日本人専門家の現地滞在期間が短いため、BBRMCI の本来業務とプロジェクト活動との理解にやや食い違いが見られた。</td></tr>
</table>

		日本人専門家と上位機関（中央・地方政府、関連省庁等）とのコミュニケーション	概ね良好だが、政治的対立関係の影響もあり、一部地方政府とのさらなる関係改善、支援獲得が必要。
		日本人専門家と地域住民とのコミュニケーション	概ね良好。しかし、プロジェクト前半のバランガイ・レベルでの活動を通じて高まった住民のプロジェクトに対する期待には、十分注意すべき。
		C/P と上位機関とのコミュニケーション	概ね良好だが、政治的対立関係の影響もあり、一部地方政府とのさらなる関係改善、支援獲得が必要。
		C/P と地域住民とのコミュニケーション	概ね良好。
		プロジェクト・チームとその他外部機関とのコミュニケーション	概ね良好。
		プロジェクト・チームと JICA 事務所・本部とのコミュニケーション	概ね良好。
	オーナーシップ	適切な C/P が配置されたか	適切。
		C/P 機関の財源は十分か	政治的背景から、構成 LGU の分担金支払いが一部滞っているが、イロイロ州政府の資金援助で補填されている状態。活動に支障が出るまでには至っていなかった。
		実施機関、C/P のプロジェクトに対する認識は高いか	認識、モチベーション、ともに非常に高い。
		地域でのプロジェクトに対する認識は高いか	BBRMCI が沿岸資源管理にかかる活動をしていることは認識されているが、本プロジェクトについては、必ずしも正しい情報がまんべんなく行き渡っているわけではない。現地語による戦略的な情報宣伝・啓蒙活動が必要。
		地域住民のプロジェクト参加意欲は十分か	パイロット・プロジェクトや各種研修への参加意欲は非常に高い。
		上位機関はプロジェクト、C/P を評価しているか	イロイロ州政府は、BBRMCI による沿岸資源管理活動を州開発計画に包摂しており、BBRMCI の事例をグッドプラクティスとして、州内の他の LGU の再活性化に役立てたいと考えており、本プロジェクトへの期待も大きい。州政府は、BBRMCI の違法漁業取締り活動を積極的に支持するだけでなく、予算補助やマンパワーの補填（州農業局から職員 4 名を BBRMCI に出向中）など、年々BBRMCI への支援を増やしてきている。 他方、構成 LGU の足並みは必ずしもそろってはおらず、中には政治的背景から分担金支払いの停止や出向職員の引き上げを行っている LGU もある。
	その他の問題	実施プロセスにおける問題点、改善すべき点	中間レビュー時点では、BBRMCI スタッフに比べ、構成 LGU 職員のプロジェクトへの巻き込みが弱いように感じられた。LGU 職員も本プロジェクトにおける能力強化の対象であり、プロジェクト終了後の自立発展性を高めるためにも構成 LGU および州政府の継続的な支援獲得が不可欠である。
妥当性	上位目標とプロジェクト目標はフィリピン国家政策に合致しているか	国家政策と合致しているか 関連省庁の政策と合致しているか	フィリピン政府の中期開発計画（2004-2010 年）は、貧困層に配慮しつつ、国民の基本的ニーズを充足させるために公共サービスを強化することを基本構想としており、本プロジェクトが目的とする沿岸資源管理の強化は、これに合致している。

		地方政府の政策と合致しているか	また、1991 年地方政府法は、複数の地方政府が共通の行政課題に取り組む方法として LGU のクラスター化を奨励しているが、本プロジェクトは LGU クラスターとしての BBRMCI の沿岸資源管理能力向上を目的とするものであり、フィリピンの目指す地域開発方針とも合致している。
	上位目標とプロジェクト目標はターゲットグループのニーズと合致しているか	BBRMCI のニーズに合致しているか 地域住民のニーズに合致しているか 対象地域の選択は適正であったか	本プロジェクトの対象地域周辺のヴィサヤ海は国内でも有数の漁業地域であるが、マングローブ林やさんご礁の破壊を伴う沿岸環境破壊や違法漁業が多発し、環境問題が深刻化すると共に、農漁村資源の減少に伴う住民の収入減少が顕在化しており、ターゲットグループのプロジェクトに対する期待とニーズは依然高い。
	上位目標とプロジェクト目標は日本の援助政策に合致しているか	援助重点分野との整合性はあるか 国別事業計画との整合性はあるか	日本の対フィリピン国別援助政策、JICA の対フィリピン国別事業計画に合致している。
	日本の技術の優位性はあるか	LGU クラスターによる沿岸資源管理モデルに関し、日本の技術や方式は優位性を有しているか	日本は海に囲まれており、沿岸資源管理、養殖、人工漁礁などの分野に優位性が認められる。
有効性	成果は中間評価時点でどの程度達成されたか、また今後どの部分がいつまでにどの程度達成される見込みか	沿岸資源管理プロジェクトの成果の達成度合い、今後の達成見込み、成果の達成を促進/阻害している要因は何か	**成果の達成状況** 研修やセミナーの準備・実施にかかるカウンターパートの能力はプロジェクト活動を通じて確実に強化されており、沿岸バランガイに居住する漁民および一般住民の多くも、本プロジェクトにおける違法漁業への取り組みと効果に対する認識を強めつつあるなど、一定の成果があがってきている。 **促進要因** (1) カウンターパートのモチベーションの高さ カウンターパートは業務に対する意欲が高く、日本人専門家との協力関係も非常に良い。さらに、本プロジェクトによる研修施設の建設や調査用ボートの供与など、物質的な面での投入も彼らのモチベーションを大いに高めており、短期間で質の高い成果を上げるのに貢献している。 (2)BBRMCI の 10 年以上にわたる沿岸資源管理活動経験 BBRMCI は、10 年以上にわたって地域の沿岸資源管理を続けてきたことから、活動に必要な基本的知識や実践経験を有し、地域にネットワークを構築している。研修やワークショップの企画・実施に財政支援をしてくれる公官庁や NGO、技術や研修講師を提供してくれる大学や専門機関など、そのネットワークは幅広く、本プロジェクトの活動を円滑に進める上でも非常に有用である。 (3) イロイロ州政府の支援 イロイロ州政府は、本プロジェクトの円滑な実施に大きく貢献してきた。州政府は、BBRMCI による沿岸資源管理活動を州開発計画に包摂しており、BBRMCI の事例をグッドプラクティスとして、州内の他の LGU の再活性化に役立てたいと考えており、本プロジェクトへの期待も大きい。州政府は、BBRMCI の違法漁業取締り活動を積極的に支持するだけでなく、予算補助やマンパワーの補填(州農業局から職員 4 名を BBRMCI に出向中)など、年々BBRMCI への支援を増やしてきている。

			阻害要因 (1) 政治情勢 政治派閥間の対立を背景に、バロタック・ヌエボ町は 2008 年以降、BBRMCI への分担金の支払いを停止し、BBRMCI に出向させていた職員を農業課に引き上げている。また、現実には違法漁業の取締り活動にも地方政治家の意向を無視できない側面があり、政治情勢がプロジェクト活動の進捗や効果の発現にマイナスの影響を与えていると考えられる。 (2) 活動絞り込み戦略の不足 本プロジェクト前半では、PCRA の対象バランガイ数が当初の 8 から全沿岸バランガイ 31 に拡大するなど、時間的にも人員・予算的にもバランガイ・レベルでの活動への投入が増加した。そうした活動は、沿岸バランガイの基本データ収集や住民の沿岸資源管理への関心を高めることには貢献したが、これまでの BBRMCI の業績と経験を最大限に活用して、モデル化、一般普及化に資するための活動(オペレーション・マニュアル作成等)は遅れ気味になった。プロジェクト後半では、より活動を絞り込み、プロジェクト目標や上位目標の達成につなげていく活動に力を入れていく必要があるだろう。 (3) 日本人専門家不在時のコミュニケーション不足 日本人専門家の現地派遣期間が期待される成果の大きさに対してやや短いのに加え、プロジェクト対象地が地方部にあることから(調達に時間がかかる、インターネット接続が不安定)、当初、プロジェクト・チーム内のコミュニケーションは必ずしも円滑ではなかった。しかし、こうした不備を補うために常駐のローカル・リサーチ・アシスタントを配置したことで、コミュニケーションの問題は大幅に改善され、活動の進捗管理にも効果が認められた。常時利用可能なコミュニケーション手段の不在と日本人専門家の派遣期間の短さは、今後もプロジェクトの成果発現を阻害する要因の一つであると考えられる。
	プロジェクト目標の達成見込み	中間評価時点での達成度合い プロジェクト目標を促進/阻害している要因は何か	プロジェクト目標の達成は後半の活動成果如何に大きく負っているため、中間レビュー時点で有効性を判断するにはやや時期尚早と考えられる。
	PDM の論理構成	PDM の活動、成果、プロジェクト目標は、論理的かつ適切な因果関係にあるか PDM の活動、成果、プロジェクト目標について、関係者間の合意は十分であったか 現行の PDM に改訂すべき点はあるか	本プロジェクトの PDM は論理的に構成されていると考えられるので、プロジェクト後半で、現在まだ活動の本格化していない沿岸資源増殖活動のモニタリング、より戦略的な広報活動、オペレーション・マニュアルの完成と他の LGU クラスターへの普及準備等を予定通り推進し、成果を上げることができれば、プロジェクト目標は十分達成されると見込まれる。
	外部条件の重要性	プロジェクト目標、成果を達成する上で影響を与えた政策、政治・経済状況の変化、自然条件、その他の要因はあったか	**外部条件の変化** 政治的環境。阻害要因でもあるが、促進要因ともなりうる。
効率	投入は適切に行われたか	投入の確認参照	質・量ともにほぼ予定どおり。

性	活動は成果を生み出すのに十分であったか	活動の質、量、時期、期間	プロジェクト前半では、時間的にも人員・予算的にもバランガイ・レベルでの活動への投入が増加した。PCRA からの成果は十分生み出せたが、それ以外の活動成果とのバランスがやや悪かった。
	投入は効果的に活用されたか	投入の利用状況（人的資源、設備・資機材、運営費）、維持管理状況	投入は、十分活用されており、期待される成果の産出に貢献している。特に、供与された研修施設、調査用ボート、事務機器等は日常的に活用されており、維持管理状況も良好である。
	投入は効率的に活用されたか	投入は成果を生み出すように効率的に活用されたか 投入に対して裨益人口/成果は十分か	概ね効率的に活用された。プロジェクト前半では、時間的にも人員・予算的にもバランガイ・レベルでの活動への投入が増加した。PCRA は、当初 8 バランガイのみで行う予定であったが、最終的には全沿岸バランガイ（31）で実施された。また、パイロット・プロジェクトの数も当初予定より増えており、直接的な裨益人口は増加する見込み。
	促進/阻害要因	プロジェクトの効率性に貢献/阻害した要因は何か	**促進要因** （1）現地雇用のリサーチ・アシスタントを常駐させてコミュニケーションを円滑に保ち、ローカル・コンサルタントを多数雇用して、日本人専門家の不在時にも調査から研修まで幅広い業務を遂行するなど、少ない投入で期待される成果をあげる工夫がなされている。 （2）BBRMCI の 10 年以上に及ぶ沿岸資源管理経験とその間に築かれた地元関係機関とのネットワークは、本プロジェクトを効率的かつ効果的に進める上で非常に役立った。 **阻害要因** プロジェクト前半では、時間的にも人員・予算的にもバランガイ・レベルでの活動への投入が増加し、ややバランスを欠いた。
インパクト	上位目標へのインパクト	BBRMCI の経験は、イロイロ州内の他の沿岸資源管理クラスターに普及され、機能するようになるか	本プロジェクトでは、後半にインパクトにつながる活動が集中しているため、現時点で上位目標の達成見込みを評価することは難しい。今後の重要な課題としては、後方の強化が挙げられる。ポスター、パンフレット、ニュースレターなどの広報資料、州レベルのワークショップ、オペレーション・マニュアルなどは、BBRMCI の経験を他のクラスターに普及する重要なツールであり、プロジェクト後半ではこれらツールの完成と普及活動からの成果が期待される。
	促進/阻害要因	上位目標の達成を促進/阻害する要因(外部条件の変化等)はあるか	上位目標の達成度を向上させるためには、BBRMCI を構成する LGU からプロジェクトに対するさらなる理解と支援が必要であることは明らかである。
自立発展性	政策・制度面	中央・地方政府の政策は継続するか	クラスター化による、複数 LGU 共通課題への取り組みは、1991 年地方政府法に明記されているものであり、継続の見込みは高い。しかし、LGU クラスター活動を重視するかどうかは、ときどきの政治状況に大きく依存しているため予測が難しい。
		BBRMCI は、今後も持続するか	現時点では持続の見込みは高いが、2010 年選挙以降の政治状況に左右される度合いが高い。
	財政面	プロジェクトの効果を持続するための十分な予算確保が見込めるか	組織面、技術面、財政面での自立発展性は、BBRMCI を構成する LGU からの支援が継続する限り、十分見込まれる。プロジェクト・チームは構成 LGU に対し、条例で定められたメンバーLGU としての責任を誠実に果たすよう要請しているが、2010 年地方選挙を睨んで関係者間の政治的対立が顕在化しており、分担金の支払い停止や出向職員の引き上げの問題が生じている。
	組織面	プロジェクトの効果を持続するための活動実施能力が備わっているか（人材配置、意思決定	組織面、技術面、財政面での自立発展性は、BBRMCI を構成する LGU からの支援が継続する限り、十分見込まれる。構成 LGU による BBRMCI に対する支援が継続されれば、プロジェクト終了後にもプロジェクトの成果は発展的に維持されると見込まれる。プロジェクト・チームは構成 LGU に対し、条例で定められたメンバー

		メカニズム等）	LGU としての責任を誠実に果たすよう要請しているが、2010 年地方選挙を睨んで関係者間の政治的対立が顕在化しており、分担金の支払い停止や出向職員の引き上げの問題が生じている。また、中間レビュー時点では、BBRMCI スタッフに比べ、構成 LGU 職員のプロジェクトへの巻き込みが弱いように感じられたが、LGU 職員も本プロジェクトにおける能力強化の対象であり、プロジェクト終了後の自立発展性を高めるためにも構成 LGU および州政府の継続的な支援獲得が不可欠である。
	技術面	移転された技術は BBRMCI に定着する見込みか オーナーシップは十分か 供与された機材・施設は今後も活用され、維持管理される見込みか	組織面、技術面、財政面での自立発展性は、BBRMCI を構成する LGU からの支援が継続する限り、十分見込まれる。構成 LGU による BBRMCI に対する支援が継続されれば、プロジェクト終了後にもプロジェクトの成果は発展的に維持されると見込まれる。
		プロジェクトで実施するパイロットプロジェクトは、他の地域、機関でも普及できるレベルか（技術、コスト）	パイロット・プロジェクトのサイト選定基準は次のとおり。他のコミュニティでの実施可能性が高い内容であることが条件となっている。 選定基準： 1. 長期的な沿岸資源の増殖に資する、町単位の活動であること。各町から 1 つの沿岸資源管理パイロット・プロジェクトを選ぶ。 2. バランガイ・レベルの沿岸資源管理活動に参加している漁民世帯の生計支援に資する漁業に関連した生計向上活動であること。町ごとに 2 つの生計向上パイロット・プロジェクトを選ぶ。 3. 他のコミュニティでも実施可能性が高いと考えられる活動内容であること。
	促進/阻害要因	自立発展性を促進/阻害する要因は何か	政治的環境。構成 LGU 及びイロイロ州政府間の関係が本プロジェクトの自立発展性に大きな影響を与える。中間レビュー時点では、関係者間の政治的対立が顕在化しており、分担金の支払い停止や出向職員の引き上げの問題が生じていた。

Annex 2 List of Equipment

Provision/Procurement/Maintenance of the Equipment

No.	Date of Arrival	Description			Amount	Place of Storage	Remarks
		Item	Manufacturer	Model Number			
1	2007/10/7	Underwater Camera	OLYMPUS	µ770SW	1	BBRMCI	
2	2007/10/7	UPS	APC	ES500	2	BBRMCI	
3	2007/10/7	Eco sounder	Lowrance	LMS-520C	1	BBRMCI	
4	2007/10/7	Secchi disc	Miyamoto Riken Kougyou	Mar-37	1	BBRMCI	
5	2007/10/7	Salinometer	Lutron	YK-31SA	1	BBRMCI	
6	2007/10/19	AVR	Mitsui		2	BBRMCI	
7	2007/10/26	Laptop Computer with software	Packard Bell	Argo C2	1	BBRMCI	
8	2007/11/10	BOTTOM SAMPLER	Miyamoto Riken Kougyou		1	BBRMCI	
9	2007/11/12	PH/DO meter	Pasco	PS-2002	1	BBRMCI	
10	2007/11/12	Turbidity meter	Pasco	PS-2122	1	BBRMCI	
11	2007/11/28	Public Address System	YAMAHA	Stagepass 300	1	BBRMCI	
12	2008/2	Construction of Training center			1	BBRMCI	
13	2008/3	Digital Duplicator	Kyocera	FS-1016 MFP	1	BBRMCI	
14	2008/3/11	Desktop computer (high spec) with software	Acer	Veriton6900	1	BBRMCI	has been repaired 3 times
15	2008/3/11	Desktop computer with software	Acer	Aspire M5630	1	ILOILO PROVINCE	
16	2008/3/11	Memory Stick	Imation	1gb	2	BBRMCI	
17	2008/3/11	Dot matrix printer	Epson	LX300+	1	BBRMCI	
18	2008/3/11	Multimedia Projector	Toshiba	TLP-X2000	1	BBRMCI	
19	2008/7/25	Construction of Patrol Boat	Double Z		1	BBRMCI	
20	2008/8/19	Dot matrix printer	Epson	LX300+	1	BBRMCI	
21	2008/9	Digital Video Camera	Canon	FS11	1	BBRMCI	
22	2008/10/15	Life vests			10	BBRMCI	
23	2008/10/16	Binoculars	Hahn		4	BBRMCI	
24	2008/10/25	A3 Printer	hp	deskjet 1280	1	BBRMCI	
25	2008/10/25	Printer with scanner	Epson	Stylus CX5500	1	BBRMCI	
26	2008/11/15	Handsets with Licenses	iCOM	V-8	8	BBRMCI	
27	2008/11/15	Licensed Base Station	iCOM	2200	1	BBRMCI	
28	2007/11	Mobile GPS	Garmin	Etrex Summit	4	BBRMCI	

Provision/Procurement/Maintenance of the Equipment

Note:

R/P:Route of Procurement (J: From Japan,L: Local,E: With Expert)
Frequency of Use (A: Always B: Often C: Sometimes)
Condition (A: Good B: Fair C: Bad)

No.	Date of Arrival	Description				Amount	Place of Storage	Frequency of Use	Condition	Remarks
		Item	Manufacturer	Model Number	R/P					
1	2007/10/7	Underwater Camera	OLYMPUS	µ770SW	J	1	BBRMCI	A	A	
2	2007/10/7	UPS	APC	ES500	E	2	BBRMCI	A	A	
3	2007/10/7	Eco sounder	Lowrance	LMS-520C	J	1	BBRMCI	C	A	
4	2007/10/7	Secchi disc	Miyamoto Riken Kougyou	Mar-37	J	1	BBRMCI	C	B	
5	2007/10/7	Salinometer	Lutron	YK-31SA	J	1	BBRMCI	B	B	
6	2007/10/19	AVR	Mitsui		E	2	BBRMCI	A	A	
7	2007/10/26	Laptop Computer with software	Packard Bell	Argo C2	E	1	BBRMCI	A	A	
8	2007/11/10	BOTTOM SAMPLER	Miyamoto Riken Kougyou		J	1	BBRMCI	C	A	
9	2007/11/12	PH/DO meter	Pasco	PS-2002	E	1	BBRMCI	A	B	
10	2007/11/12	Turbidity meter	Pasco	PS-2122	E	1	BBRMCI	A	B	
11	2007/11/28	Public Address System	YAMAHA	Stagepass 300	L	1	BBRMCI	C	A	
12	2008/2	Construction of Training center			L	1	BBRMCI	A	A	
13	2008/3	Digital Duplicator	Kyocera	FS-1016 MFP	L	1	BBRMCI	A	A	
14	2008/3/11	Desktop computer (high spec) with software	Acer	Veriton6900	L	1	BBRMCI	A	B	has been repaired 3 times
15	2008/3/11	Desktop computer with software	Acer	Aspire M5630	L	1	ILOILO PROVINCE	A	A	
16	2008/3/11	Memory Stick	Imation	1gb	L	2	BBRMCI	A	A	
17	2008/3/11	Dot matrix printer	Epson	LX300+	L	1	BBRMCI	A	A	
18	2008/3/11	Multimedia Projector	Toshiba	TLP-X2000	L	1	BBRMCI	C	A	
19	2008/7/25	Construction of Patrol Boat	Double Z		E	1	BBRMCI	A	A	
20	2008/8/19	Dot matrix printer	Epson	LX300+	L	1	BBRMCI	A	A	
21	2008/9	Digital Video Camera	Canon	FS11	L	1	BBRMCI	A	A	
22	2008/10/15	Life vests			L	10	BBRMCI	C	A	
23	2008/10/16	Binoculars	Hahn		L	4	BBRMCI	C	A	
24	2008/10/25	A3 Printer	hp	deskjet 1280	E	1	BBRMCI	A	A	
25	2008/10/25	Printer with scanner	Epson	Stylus CX5500	E	1	BBRMCI	B	A	
26	2008/11/15	Handsets with Licenses	iCOM	V-8	L	8	BBRMCI	A	A	
27	2008/11/15	Licensed Base Station	iCOM	2200	L	1	BBRMCI	A	A	
28	2007/11	Mobile GPS	Garmin	Etrex Summit	L	4	BBRMCI	B	A	

Provision/Procurement/Maintenance of the Equipment

Note:

R/P:Route of Procurement (J: From Japan,L: Local,E: With Expert)
Frequency of Use (A: Always B: Often C: Sometimes)
Condition (A: Good B: Fair C: Bad)

No.	Date of Arrival	Description				Amount	Unit Price Currrency		S-total		Place of Storage	Frequency of Use	Condition	Remarks
		Item	Manufacturer	Model Number	R/P									
1	2007/10/7	Underwater Camera	OLYMPUS	µ770SW	J	1	100,800.00	Yen	100,800.00	Yen	BBRMCI	A	A	
2	2007/10/7	UPS	APC	ES500	E	2	2,245.00	Peso	4,490.00	Peso	BBRMCI	A	A	
3	2007/10/7	Eco sounder	Lowrance	LMS-520C	J	1	148,800.00	Yen	148,800.00	Yen	BBRMCI	C	A	
4	2007/10/7	Secchi disc	Miyamoto Riken Kougyou	Mar-37	J	1	28,350.00	Yen	28,350.00	Yen	BBRMCI	C	B	
5	2007/10/7	Salinometer	Lutron	YK-31SA	J	1	25,988.00	Yen	25,988.00	Yen	BBRMCI	B	B	
6	2007/10/19	AVR	Mitsui		E	2	650.00	Peso	1,300.00	Peso	BBRMCI	A	A	
7	2007/10/26	Laptop Computer with software	Packard Bell	Argo C2	E	1	50,600.00	Peso	50,600.00	Peso	BBRMCI	A	A	
8	2007/11/10	BOTTOM SAMPLER	Miyamoto Riken Kougyou		J	1	168,000.00	Yen	168,000.00	Yen	BBRMCI	C	A	
9	2007/11/12	PH/DO meter	Pasco	PS-2002	E	1	115,525.00	Peso	115,525.00	Peso	BBRMCI	A	B	
10	2007/11/12	Turbidity meter	Pasco	PS-2122	E	1	18,000.00	Peso	18,000.00	Peso	BBRMCI	A	B	
11	2007/11/28	Public Address System	YAMAHA	Stagepass 300	L	1	55,000.00	Peso	55,000.00	Peso	BBRMCI	C	A	
12	2008/2	Construction of Training center			L	1	494,668.78	Peso	494,668.78	Peso	BBRMCI	A	A	
13	2008/3	Digital Duplicator	Kyocera	FS-1016 MFP	L	1		Peso	0.00	Peso	BBRMCI	A	A	
14	2008/3/11	Desktop computer (high spec) with software	Acer	Veriton6900	L	1	59,352.68	Peso	59,352.68	Peso	BBRMCI	A	B	has been repaired 3 times
15	2008/3/11	Desktop computer with software	Acer	Aspire M5630	L	1	52,812.50	Peso	52,812.50	Peso	ILOILO PROVINCE	A	A	
16	2008/3/11	Memory Stick	Imation	1gb	L	2	848.21	Peso	1,696.42	Peso	BBRMCI	A	A	
17	2008/3/11	Dot matrix printer	Epson	LX300+	L	1	6,651.79	Peso	6,651.79	Peso	BBRMCI	A	A	
18	2008/3/11	Multimedia Projector	Toshiba	TLP-X2000	L	1	52,321.43	Peso	52,321.43	Peso	BBRMCI	C	A	
19	2008/7/25	Construction of Patrol Boat	Double Z		E	1	484,899.70	Peso	484,899.70	Peso	BBRMCI	A	A	
20	2008/8/19	Dot matrix printer	Epson	LX300+	L	1	8,750.00	Peso	8,750.00	Peso	BBRMCI	A	A	
21	2008/9	Digital Video Camera	Canon	FS11	L	1	37,000.00	Peso	37,000.00	Peso	BBRMCI	A	A	
22	2008/10/15	Life vests			L	10	900.00	Peso	9,000.00	Peso	BBRMCI	C	A	
23	2008/10/16	Binoculars	Hahn		L	4	6,500.00	Peso	26,000.00	Peso	BBRMCI	C	A	
24	2008/10/25	A3 Printer	hp	deskjet 1280	E	1	11,695.00	Peso	11,695.00	Peso	BBRMCI	A	A	
25	2008/10/25	Printer with scanner	Epson	Stylus CX5500	E	1	4,495.00	Peso	4,495.00	Peso	BBRMCI	B	A	
26	2008/11/15	Handsets with Licenses	iCOM	V-8	L	8	12,805.00	Peso	102,440.00	Peso	BBRMCI	A	A	
27	2008/11/15	Licensed Base Station	iCOM	2200	L	1	29,800.00	Peso	29,800.00	Peso	BBRMCI	A	A	
28	2007/11	Mobile GPS	Garmin	Etrex Summit	L	4	14,200.00	Peso	56,800.00	Peso	BBRMCI	B	A	